

宮代町住民意識調査結果報告書



平成27年3月
宮代町

目 次

I. 調査概要.....	1
II. 調査結果.....	5
1. 町の住みごちについて	
(1) 町の住みやすさ	5
(2) 今後の居留意向	7
(3) 住み続けたい理由	9
(4) 移転したい理由	10
2. まちづくりに対する“満足度”について	
(1) 都市基盤	11
(2) 生活・自然環境	15
(3) 教育・生涯学習・コミュニティ.....	19
(4) 保健・医療・福祉	21
(5) 産業	23
(6) 行財政運営	25
3. 公共施設の利用頻度と利用満足度	
(1) スポーツ関連施設	28
(2) 生涯学習関連施設	29
(3) 福祉関連施設	30
4. 今後のまちづくりの基本的方向性について	
(1) 都市開発のあり方について	31
(2) 田園景観減少への対応	33
(3) 活用すべき資源	35
(4) 今後の行政サービスのあり方	38
(5) 目指すべきまちづくりの方向	40
5. 今後のまちづくりの重点課題について	
(1) 重点課題	43
(2) まちづくりに対する“満足度”と重点課題の関係.....	49
6. 市民のまちづくりへの参加と町からの情報提供について	
(1) 「市民のまちづくり活動」への参加経験.....	52
(2) 「市民のまちづくり活動」への参加意向.....	54
(3) 情報入手先	56
資料：調査票.....	59

I. 調査概要

1 調査の目的

宮代町では、平成 23 年度に、今後 10 年間のまちづくりの基本的な理念や主要な施策等を定めた「第 4 次宮代町総合計画」を策定し、計画実現のための具体的施策をまとめた「前期実行計画（平成 23～27 年度）」を進める中、「前期実行計画」が平成 27 年度で終了することから、現在、「後期実行計画（平成 28～32 年度）」の策定に着手したところです。

この調査は、「前期実行計画」で取り組んでいる町の施策に対する評価やまちづくりへの要望等を把握し、「後期実行計画」策定の基礎資料として活用することを目的として実施しました。

2 調査の設計

- (1) 調査地域 宮代町全域
- (2) 調査対象 宮代町在住の満 18 歳以上の男女
- (3) 標本数 2,000 人
- (4) 調査方法 郵送による配票、回収
- (5) 調査期間 平成 27 年 1 月 21 日～2 月 12 日

3 回収結果

- (1) 発送数 2,000 人
- (2) 有効回収数 1,064 人（有効回収率 53.2%）

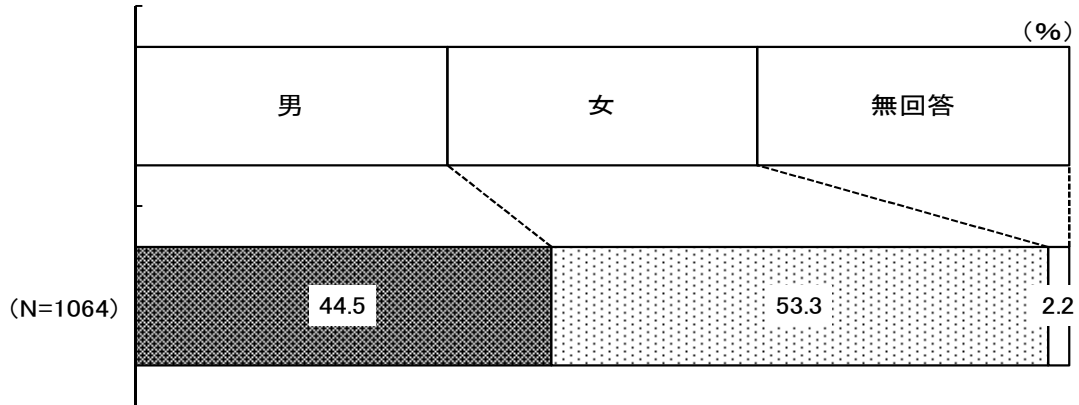
4 報告書を見るにあたって

- (1) 集計は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、回答比率の合計は必ずしも 100%にならないことがあります。
- (2) 2 つ以上の回答を要する（複数回答）質問では、その回答比率の合計は 100%を超えています。
- (3) 各質問における回答数（基数）を「N」と表記しています。図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答を除いているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は一致していません。
- (4) 図表中の記号の意味は、以下のとおりです。

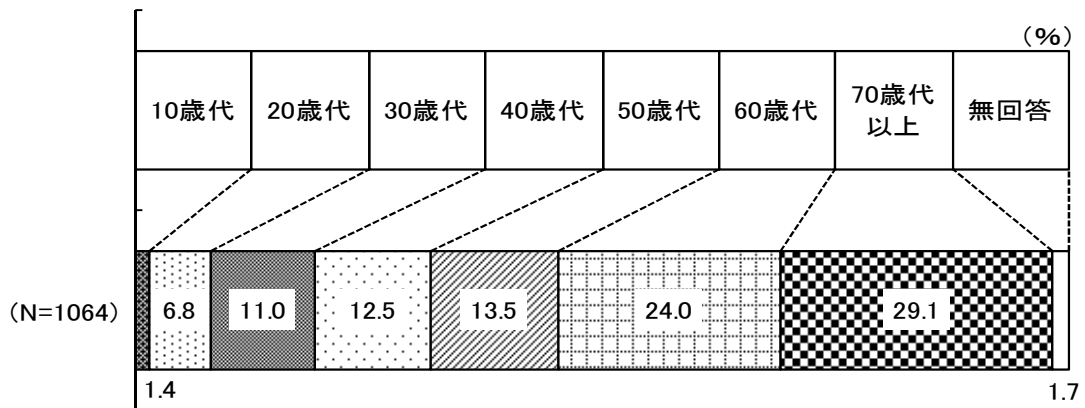
全体値より	☆：+20%以上	★：-20%以上
	○：+15%以上～20%未満	●：-15%以上～20%未満
	△：+10%以上～15%未満	▲：-10%以上～15%未満

5 回答者の属性

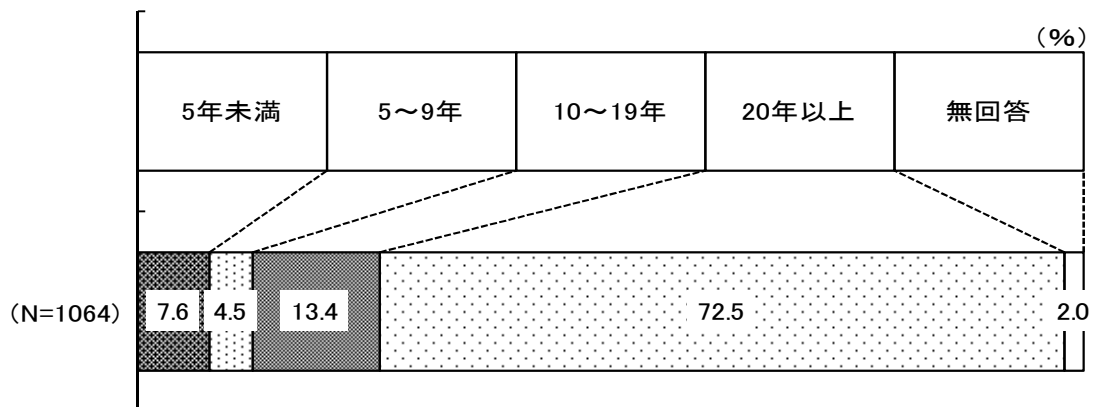
(1) 性別



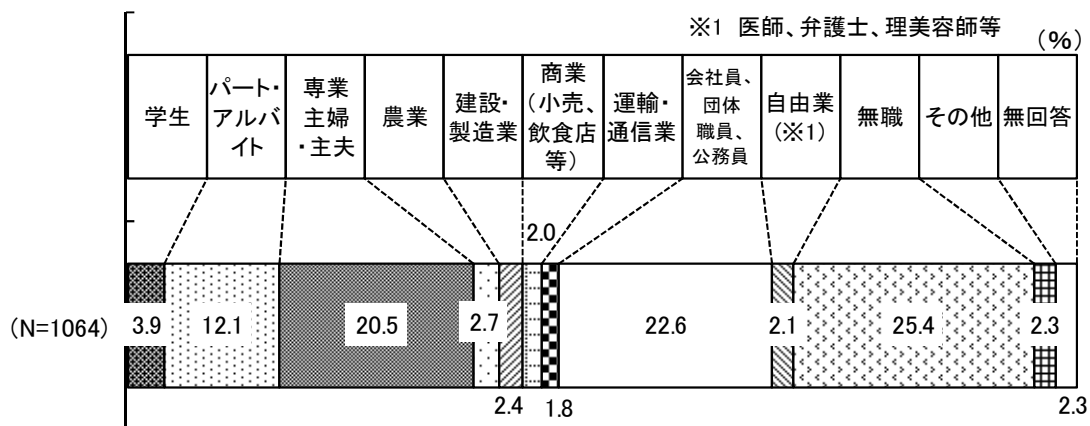
(2) 年齢



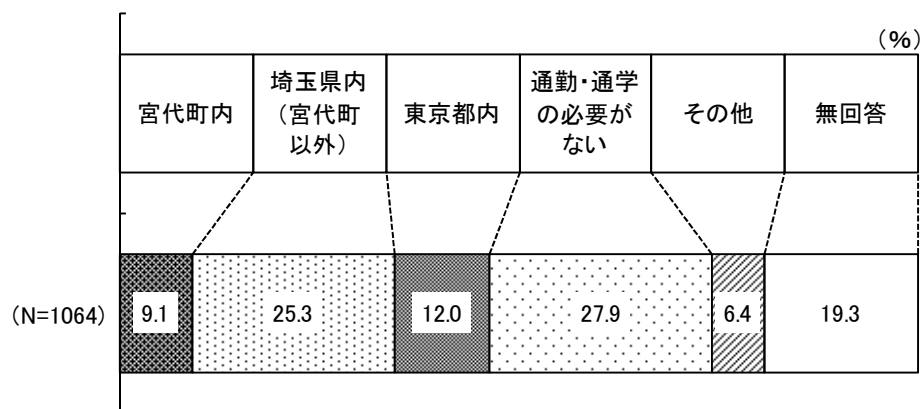
(3) 居住年数



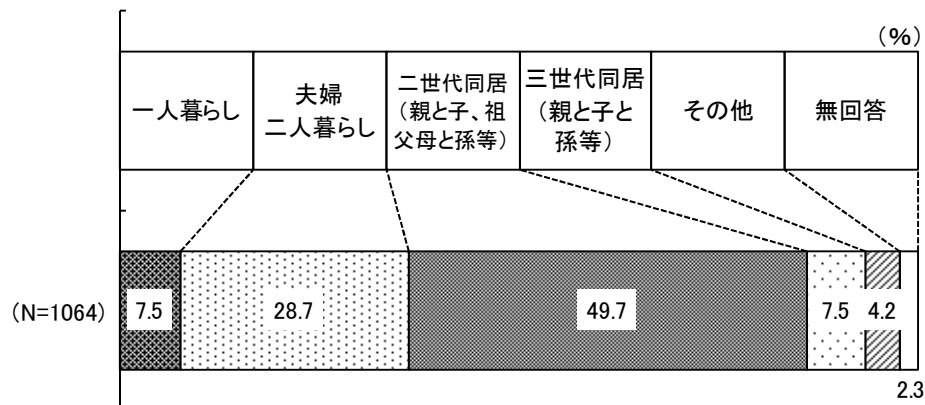
(4) 職業



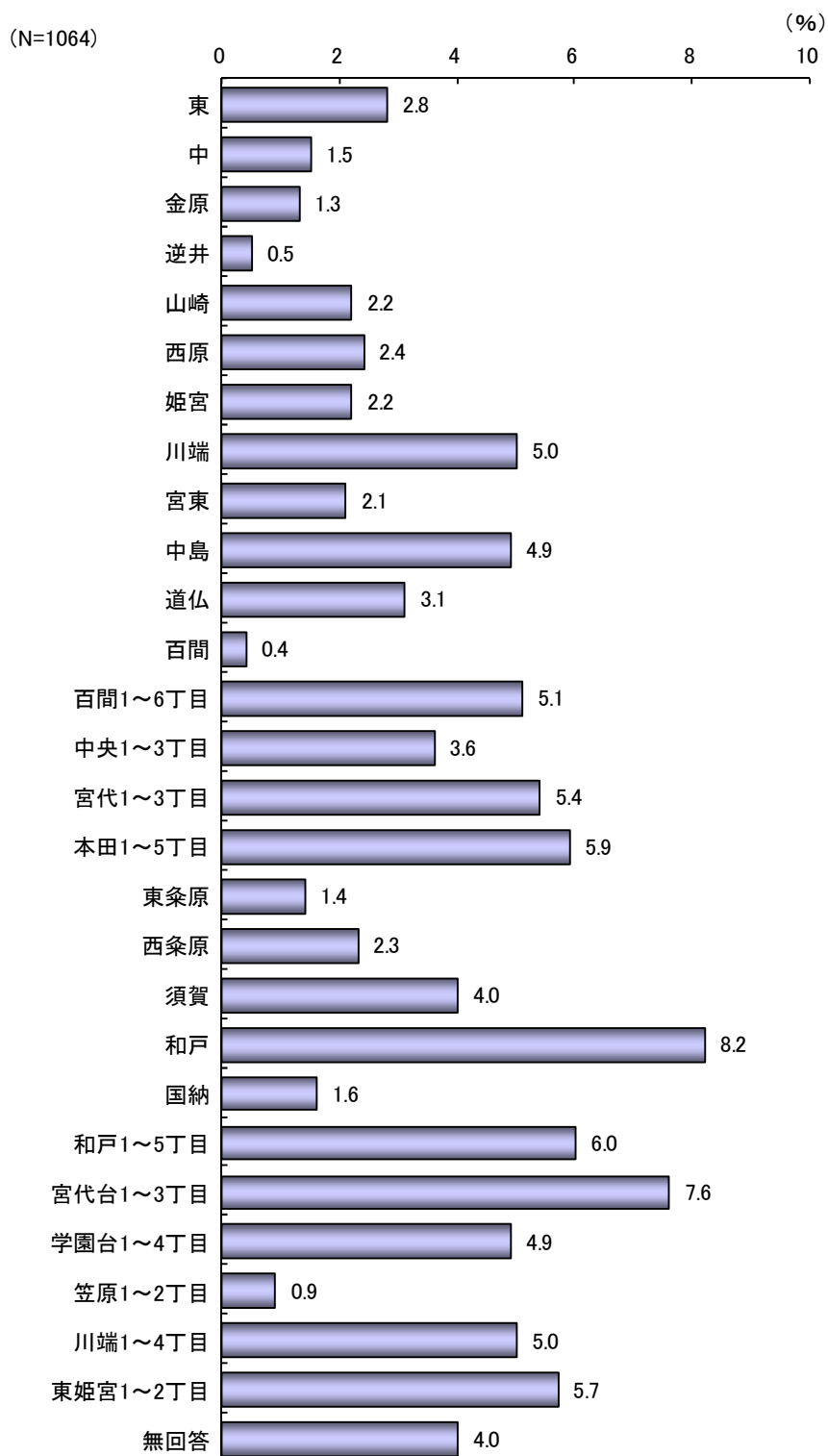
(5) 通勤・通学先



(6) 家族構成



(7) 居住地域



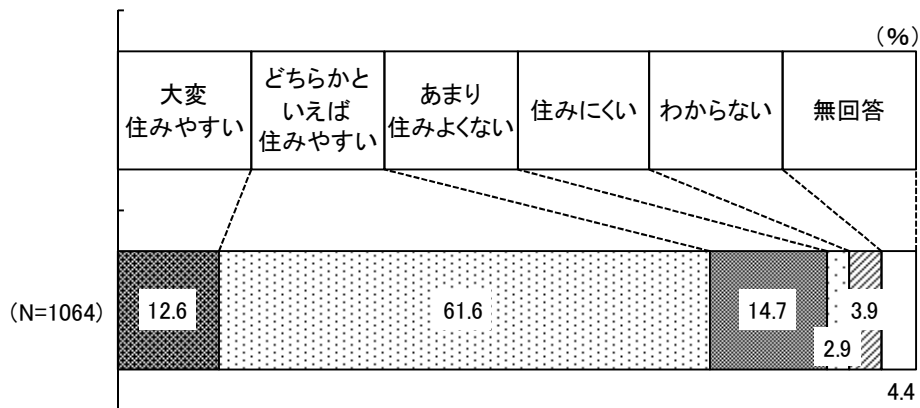
Ⅱ. 調査結果

1. 町の住みごちについて

(1) 町の住みやすさ

町の住みやすさについては、「大変住みやすい」は 12.6%にとどまっていますが、「どちらかといえば住みやすい」は 61.6%と多く、この両者を合わせると“住みやすい”と感じている人は 74.2%と 3分の2を占めています。一方、「あまり住みよくない」(14.7%)、「住みにくい」(2.9%)を合わせた“住みにくい”と感じている人は 17.6%となり、全体として“住みやすい”と感じている人が多くなっています。

問1 あなたは、宮代町の住みやすさを、全体としてどう感じていますか。(1つに○)



前回の調査結果と比較すると、大きな変化はみられず、“住みやすい”としている人が多数を占めています。

	合計	大変住みやすい	どちらかといえば住みやすい	あまり住みよくない	住みにくい	わからない	無回答
今回(平成27年)	1,064	12.6	61.6	14.7	2.9	3.9	4.4
前回(平成22年)	1,262	12.8	59.7	15.1	3.5	4.4	4.4

属性別にみても、各層とも“住みやすい”としている人が多数を占め、大きな差はみられません。

(%)

	合計	大変住み やすい	どちらかとい えば住 みやすい	あまり住み よくない	住みにくい	わからない	無回答	住みやす い計	住みにくい 計
【全体】	1,064	12.6	61.6	14.7	2.9	3.9	4.4	74.2	17.6
【性別】									
男	474	12.9	60.5	16.5	3.8	2.3	4.0	73.4	20.3
女	567	12.2	62.8	13.2	2.1	5.1	4.6	75.0	15.3
【年齢】									
20歳代以下	87	14.9	62.1	12.6	2.3	4.6	3.4	77.0	14.9
30歳代	117	7.7	64.1	13.7	3.4	6.8	4.3	71.8	17.1
40歳代	133	11.3	64.7	15.8	2.3	2.3	3.8	76.0	18.1
50歳代	144	12.5	62.5	13.9	3.5	5.6	2.1	75.0	17.4
60歳代	255	11.4	60.0	15.3	3.1	4.3	5.9	71.4	18.4
70歳代以上	310	14.8	60.6	15.8	2.3	1.9	4.5	75.4	18.1
【居住年数】									
9年以下	129	9.3	59.7	16.3	3.9	7.0	3.9	69.0	20.2
10～19年	143	9.1	68.5	13.3	4.2	2.1	2.8	77.6	17.5
20年以上	771	13.5	61.0	15.0	2.5	3.5	4.5	74.5	17.5

※全体より ☆: +20%以上、○: +15%以上～20%未満、△: +10%以上～15%未満

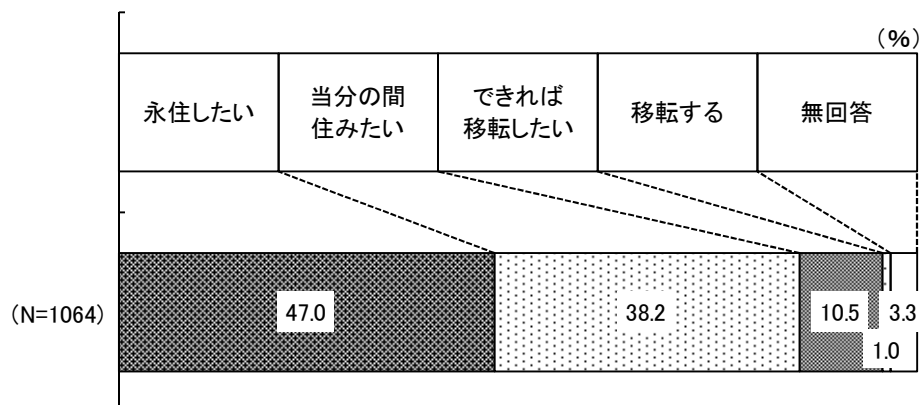
★: -20%以上、●: -15%以上～20%未満、▲: -10%以上～15%未満

※網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

(2) 今後の居留意向

町への今後の居留意向をみると、「永住したい」は47.0%、「当分の間住みたい」は38.2%で、この両者を合わせると85.2%と多数が“住みたい”としています。「できれば移転したい」、「移転する」を合わせた移転意向のある人は11.5%となっています。

問2 あなたは、これからも宮代町に住み続けたいと思いますか。(1つに〇)



前回の調査結果と比較すると、大きな変化はみられず、“住みたい”としている人が多数を占めています。

	合計	永住したい	当分の間住みたい	できれば移転したい	移転する	無回答
今回(平成27年)	1,064	47.0	38.2	10.5	1.0	3.3
前回(平成22年)	1,262	44.8	36.2	12.2	2.3	4.5

年齢別にみると、60歳代以上では「永住したい」としている人が半数を超えていますが、50歳代以下では「当分の間住みたい」という居住意向が多くなっています。

居住年数別にみると、20年以上の人は「永住したい」としている人が半数を占めていますが、19年以下の人では「当分の間住みたい」という人が多くなっています。

町の住みやすさ別にみると、大変住みやすいとしている人の「永住したい」との回答は、76.9%と多数を占めています。これに対し、あまり住みよくない・住みにくいとしている人は「できれば移転したい」との回答が45.5%と半数近くみられます。

	合計	永住したい	当分の間 住みたい	できれば移 転したい	移転する	無回答
						(%)
【全体】	1,064	47.0	38.2	10.5	1.0	3.3
【性別】						
男	474	48.1	36.7	10.8	1.3	3.2
女	567	45.3	40.0	10.6	0.9	3.2
【年齢】						
20歳代以下	87	★ 17.2	☆ 64.4	11.5	4.6	2.3
30歳代	117	● 28.2	△ 52.1	14.5	3.4	1.7
40歳代	133	▲ 33.8	△ 51.1	12.0	0.8	2.3
50歳代	144	▲ 36.1	45.8	16.7	0.0	1.4
60歳代	255	56.1	30.6	7.8	0.8	4.7
70歳代以上	310	○ 64.2	▲ 24.2	7.4	0.0	4.2
【居住年数】						
9年以下	129	● 30.2	△ 50.4	14.7	3.1	1.6
10～19年	143	● 28.7	△ 52.4	14.7	2.1	2.1
20年以上	771	52.7	33.9	9.2	0.5	3.8
【町の住みやすさ】						
大変住みやすい	134	☆ 76.9	● 19.4	0.7	0.0	3.0
どちらかといえば住みやすい	655	51.6	44.1	2.7	0.5	1.1
あまり住みよくない・住みにくい	187	★ 17.1	32.6	☆ 45.5	3.7	1.1

※全体より ☆: +20%以上、○: +15%以上～20%未満、△: +10%以上～15%未満

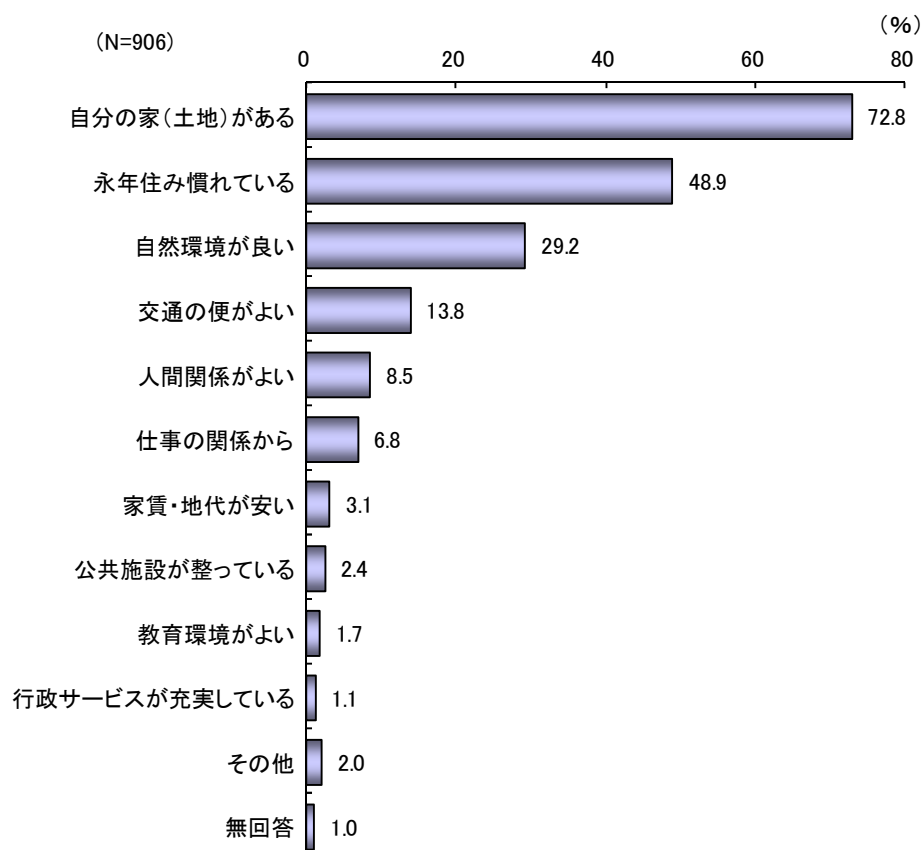
★: -20%以上、●: -15%以上～20%未満、▲: -10%以上～15%未満

※網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

(3) 住み続けたい理由

「永住したい」、「当分の間住みたい」と回答した人の主な理由は、「自分の家（土地）がある」（72.8%）が最も多く、ついで、「永年住み慣れている」が48.9%、「自然環境が良い」が29.2%でつづいています。

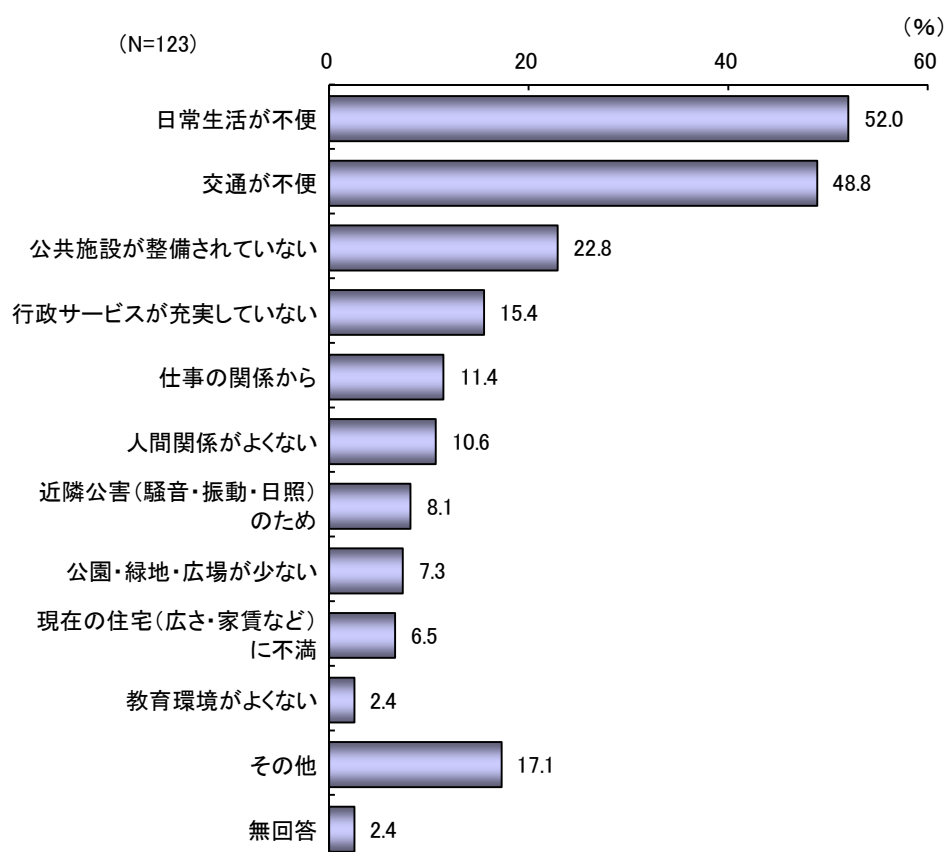
問2-1 「永住したい」「当分の間住みたい」とお答えになった方におたずねします。その主な理由は何ですか。（2つに〇）



(4) 移転したい理由

「できれば移転したい」、「移転する」と回答した人の移転したい理由をみると、「日常生活が不便」(52.0%)、「交通が不便」(48.8%)の2つが5割前後で上位にあげられ、ついで「公共施設が整備されていない」(22.8%)がつづいています。

問2-2 「できれば移転したい」「移転する」とお答えになった方におたずねします。その主な理由は何ですか。(2つに〇)



2. まちづくりに対する“満足度”について

問3 あなたのまちづくりに対する“満足度”についておたずねします。次の項目についてお答え下さい。(〇は1つずつ)

(1) 都市基盤

都市基盤に関する9項目についての満足度評価をみたのが次ページのグラフです。「満足」と「どちらかといえば満足」の合計値が50%を超える項目は、以下の3項目となっています。

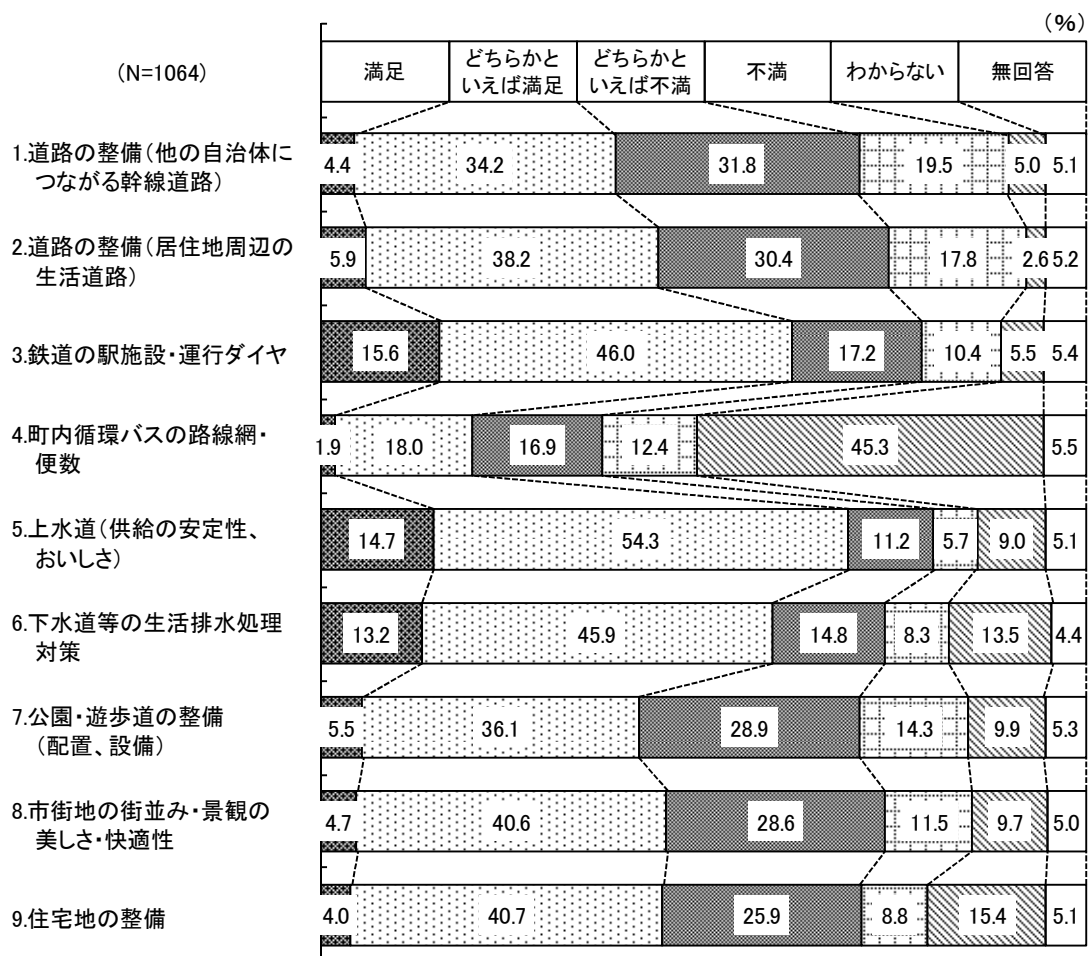
【「満足」と「どちらかといえば満足」の合計値が50%を超える項目】

	満足計(%)	不満計(%)
5.上水道(供給の安定性、おいしさ)	69.0	16.9
3.鉄道の駅施設・運行ダイヤ	61.6	27.6
6.下水道等の生活排水処理対策	59.1	23.1

これに対し、「満足」と「どちらかといえば満足」の合計値が50%を下回り、「不満」と「どちらかといえば不満」の合計値が30%を超える項目は、以下の5項目となっています。

【「不満」と「どちらかといえば不満」の合計値が30%を超える項目】

	満足計(%)	不満計(%)
1.道路の整備(他の自治体につながる幹線道路)	38.6	51.3
2.道路の整備(居住地周辺的生活道路)	44.1	48.2
7.公園・遊歩道の整備(配置、設備)	41.6	43.2
8.市街地の街並み・景観の美しさ・快適性	45.3	40.1
9.住宅地の整備	44.7	34.7



満足計（「満足」＋「どちらかといえば満足」）の数値を前回の調査結果と比較すると、どの項目も大きな差はみられません。

(%)

	今回(平成27年) 満足度計	前回(平成22年) 満足度計
1.道路の整備(他の自治体につながる幹線道路)	38.6	38.2
2.道路の整備(居住地周辺の生活道路)	44.1	39.0
3.鉄道の駅施設・運行ダイヤ	61.6	62.3
4.町内循環バスの路線網・便数	19.9	21.6
5.上水道(供給の安定性、おいしさ)	69.0	68.1
6.下水道等の生活排水処理対策	59.1	54.4
7.公園・遊歩道の整備(配置、設備)	41.6	45.8
8.市街地の街並み・景観の美しさ・快適性	45.3	45.0
9.住宅地の整備	44.7	43.0

都市基盤に関する9項目について、性別にみると、「道路の整備（他の自治体につながる幹線道路）」、「道路の整備（居住地周辺の生活道路）」は、男性の不満度が5割を超え高くなっています。

年齢別にみると、「道路の整備（他の自治体につながる幹線道路）」、「道路の整備（居住地周辺の生活道路）」は、20歳代以下の満足度が5割を超え評価が高くなっています。「公園・遊歩道の整備（配置、設備）」は、30歳代と50歳代の不満度の高さが目立っています。

(%)

	合計	1.道路の整備(他の自治体につながる幹線道路)		2.道路の整備(居住地周辺の生活道路)		3.鉄道の駅施設・運行ダイヤ		4.町内循環バスの路線網・便数		5.上水道(供給の安定性、おいしさ)	
		満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計
【全体】	1064	38.6	51.3	44.1	48.2	61.6	27.6	19.9	29.3	69.0	16.9
【性別】											
男	474	37.2	57.3	43.3	51.7	61.2	29.3	22.8	28.7	70.2	17.3
女	567	39.5	46.9	44.3	45.8	61.3	26.6	17.1	29.6	67.7	16.8
【年齢】											
20歳代以下	87	62.0	31.0	56.3	41.4	60.9	33.3	19.5	18.3	74.7	10.3
30歳代	117	49.5	43.6	49.6	46.2	62.4	31.6	18.8	25.7	60.7	23.1
40歳代	133	45.1	50.4	44.4	54.9	55.7	37.6	18.1	28.5	72.9	17.3
50歳代	144	40.3	53.4	41.7	51.4	53.5	38.2	17.4	33.4	71.5	19.4
60歳代	255	29.8	60.8	36.8	56.1	67.5	21.5	15.7	27.4	66.7	18.4
70歳代以上	310	31.3	52.6	45.2	40.6	62.6	20.7	25.1	33.3	69.3	14.2

	合計	6.下水道等の生活排水処理対策		7.公園・遊歩道の整備(配置、設備)		8.市街地の街並み・景観の美しさ・快適性		9.住宅地の整備	
		満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計
【全体】	1064	59.1	23.1	41.6	43.2	45.3	40.1	44.7	34.7
【性別】									
男	474	58.5	23.7	42.0	45.1	43.7	46.2	42.9	42.4
女	567	58.9	23.1	41.2	42.0	46.6	35.8	46.4	29.1
【年齢】									
20歳代以下	87	56.3	13.7	47.1	34.5	59.8	31.0	60.9	19.5
30歳代	117	55.6	24.8	35.1	53.9	53.0	36.8	47.0	36.8
40歳代	133	61.7	20.3	45.1	45.1	51.1	34.6	44.4	36.1
50歳代	144	61.8	23.0	36.8	50.7	43.8	47.2	47.3	34.0
60歳代	255	53.3	31.8	41.2	46.2	39.2	46.6	38.5	41.2
70歳代以上	310	63.2	19.3	43.2	35.8	41.3	38.1	43.6	33.5

※網掛けは、50%以上の数値である

町の住みやすさにおいて、「大変住みやすい」と回答した人と「あまり住みよくない」、「住みにくい」を合わせた“住みにくい”と回答した人の都市基盤に関する満足度を比較したのが以下の表です。「満足計」（「不満計」）の差が大きい項目ほど、町の住みやすさについて影響度が大きい項目といえます。（※）満足計の差が最も大きいのは、「8.市街地の街並み・景観の美しさ・快適性」となっており、以下、「9.住宅地の整備」、「1.道路の整備（他の自治体につながる幹線道路）」がつづいており、これらの項目の満足感を高めることが住みやすさの評価の向上に寄与するものといえます。

※例えば、「5.上水道（供給の安定性、おいしさ）」では、「あまり住みよくない」、「住みにくい」を合わせた“住みにくい”と回答した人の満足計は56.7%と半数以上の人々が満足しており、「大変住みやすい」と回答した人との満足計の差は26.1%にとどまっています。このことから、「5.上水道（供給の安定性、おいしさ）」は住みやすさに与えている影響度はあまり大きくないことがわかります。逆に、差が大きい項目ほど住みやすさへの影響度が大きいことになるといえます。

【町の住みやすさ】		1.道路の整備(他の自治体につながる幹線道路)		2.道路の整備(居住地周辺の生活道路)		3.鉄道の駅施設・運行ダイヤ		4.町内循環バスの路線網・便数		5.上水道(供給の安定性、おいしさ)	
		満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計
a.大変住みやすい	134	61.2	28.3	65.7	23.9	76.9	13.4	33.6	18.6	82.8	7.4
b.住みにくい計	187	20.9	69.0	27.2	67.4	44.9	44.9	9.1	43.4	56.7	25.6
a-b		40.3	-40.7	38.5	-43.5	32.0	-31.5	24.5	-24.8	26.1	-18.2
【町の住みやすさ】		6.下水道等の生活排水処理対策		7.公園・遊歩道の整備(配置、設備)		8.市街地の街並み・景観の美しさ・快適性		9.住宅地の整備			
		満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計		
a.大変住みやすい	134	75.4	10.4	62.7	21.6	65.6	19.4	64.9	18.6		
b.住みにくい計	187	46.0	33.7	25.1	57.3	23.5	61.0	24.1	54.1		
a-b		29.4	-23.3	37.6	-35.7	42.1	-41.6	40.8	-35.5		

※網掛けは、満足計の差が30%以上の項目である

同様に、「永住したい」と回答した人と「できれば移転したい」、「移転したい」を合わせた“移転したい”と回答した人の都市基盤に関する満足度を比較すると、定住意向についての影響度の大きい項目を把握することができます。下記の表でいえば、「3. 鉄道の駅施設・運行ダイヤ」の満足感を高めることが定住意向の評価の向上に寄与するものといえます。

【今後の居住意向】		1.道路の整備(他の自治体につながる幹線道路)		2.道路の整備(居住地周辺の生活道路)		3.鉄道の駅施設・運行ダイヤ		4.町内循環バスの路線網・便数		5.上水道(供給の安定性、おいしさ)	
		満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計
c.永住したい	500	38.4	51.4	49.4	42.4	70.2	19.6	22.6	28.2	75.0	11.8
d.移転したい計	123	26.0	63.4	28.4	63.4	39.0	52.1	8.1	46.3	52.8	29.3
c-d		12.4	-12.0	21.0	-21.0	31.2	-32.5	14.5	-18.1	22.2	-17.5
【今後の居住意向】		6.下水道等の生活排水処理対策		7.公園・遊歩道の整備(配置、設備)		8.市街地の街並み・景観の美しさ・快適性		9.住宅地の整備			
		満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計		
c.永住したい	500	64.2	20.2	43.6	42.0	50.4	35.0	48.0	31.4		
d.移転したい計	123	41.5	37.4	26.9	51.3	33.3	52.9	26.1	48.7		
c-d		22.7	-17.2	16.7	-9.3	17.1	-17.9	21.9	-17.3		

※網掛けは、満足計の差が30%以上の項目である

(2) 生活・自然環境

生活・自然環境に関する7項目についての満足度評価をみたのが次ページのグラフです。「満足」と「どちらかといえば満足」の合計値が50%を超える項目は、以下の3項目となっています。

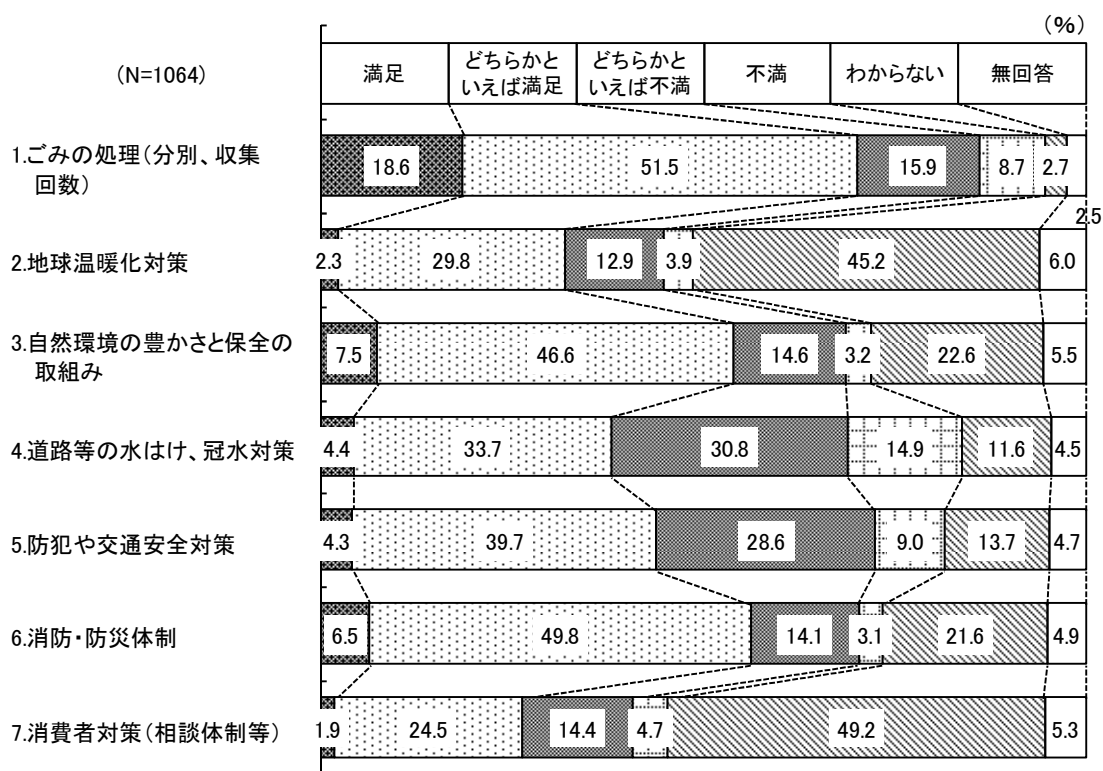
【「満足」と「どちらかといえば満足」の合計値が50%を超える項目】

	満足計(%)	不満計(%)
1.ごみの処理(分別、収集回数)	70.1	24.6
6.消防・防災体制	56.3	17.2
3.自然環境の豊かさと保全の取組み	54.1	17.8

これに対し、「満足」と「どちらかといえば満足」の合計値が50%を下回り、「不満」と「どちらかといえば不満」の合計値が30%を超える項目は、以下の2項目となっています。

【「不満」と「どちらかといえば不満」の合計値が30%を超える項目】

	満足計(%)	不満計(%)
4.道路等の水はけ、冠水対策	38.1	45.7
5.防犯や交通安全対策	44.0	37.6



前回の調査結果の満足計(「満足」+「どちらかといえば満足」)の数値を比較すると、どの項目も大きな差はみられません。

(%)

	今回(平成27年) 満足度計	前回(平成22年) 満足度計
1.ごみの処理(分別、収集回数)	70.1	73.2
2.地球温暖化対策	32.1	32.1
3.自然環境の豊かさと保全の取組み	54.1	54.4
4.道路等の水はけ、冠水対策	38.1	38.6
5.防犯や交通安全対策	44.0	41.9
6.消防・防災体制	56.3	56.5
7.消費者対策(相談体制等)	26.4	23.9

属性別にみると、性別による大きな差はみられませんが、年齢別では、「4.道路等の水はけ、冠水対策」が50歳代、60歳代で「不満計」が半数を超え多くなっています。

(%)

	合計	1.ごみの処理(分別、収集回数)		2.地球温暖化対策		3.自然環境の豊かさ と保全の取組み		4.道路等の水はけ、 冠水対策	
		満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計
【全体】	1064	70.1	24.6	32.1	16.8	54.1	17.8	38.1	45.7
【性別】									
男	474	70.4	24.6	31.9	20.0	55.0	21.7	39.9	48.3
女	567	69.7	24.7	32.1	13.6	53.3	14.8	36.6	44.0
【年齢】									
20歳代以下	87	59.8	27.6	28.7	12.6	64.3	16.1	37.9	43.6
30歳代	117	63.2	34.2	34.2	5.1	65.0	6.9	45.3	37.6
40歳代	133	59.4	39.9	36.1	12.8	60.1	13.5	42.1	44.3
50歳代	144	66.0	31.2	33.4	18.1	50.7	20.9	33.3	52.8
60歳代	255	72.9	22.8	29.0	19.6	52.5	18.4	30.2	54.9
70歳代以上	310	80.0	11.9	32.2	20.3	47.4	22.6	42.3	40.0

	合計	5.防犯や交通安全対策		6.消防・防災体制		7.消費者対策(相談体制等)	
		満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計
【全体】	1064	44.0	37.6	56.3	17.2	26.4	19.1
【性別】							
男	474	47.1	40.3	59.5	22.6	27.0	24.3
女	567	41.5	35.5	54.0	12.5	26.0	13.9
【年齢】							
20歳代以下	87	54.0	31.0	62.1	12.6	27.6	11.5
30歳代	117	46.2	37.6	53.0	12.8	29.9	12.9
40歳代	133	43.7	37.6	60.1	12.0	30.1	14.3
50歳代	144	39.6	46.5	52.8	23.7	26.4	20.2
60歳代	255	38.9	43.1	52.1	19.6	20.0	20.8
70歳代以上	310	47.1	30.6	60.0	16.8	28.0	22.6

※網掛けは、50%以上の数値である

町の住みやすさ別にみると、満足計の差が大きいのは、「5.防犯や交通安全対策」と「3. 自然環境の豊かさと保全の取組み」となっています。

(%)

【町の住みやすさ】		1.ごみの処理(分別、収集回数)		2.地球温暖化対策		3.自然環境の豊かさと保全の取組み		4.道路等の水はけ、冠水対策	
		満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計
a.大変住みやすい	134	82.1	11.9	41.0	6.7	68.6	9.7	50.7	32.1
b.住みにくい計	187	57.8	36.9	23.0	19.2	33.6	31.0	26.2	55.1
a-b		24.3	-25.0	18.0	-12.5	35.0	-21.3	24.5	-23.0
【町の住みやすさ】		5.防犯や交通安全対策		6.消防・防災体制		7.消費者対策(相談体制等)			
		満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計		
a.大変住みやすい	134	61.2	22.4	69.4	9.0	40.3	5.9		
b.住みにくい計	187	25.1	53.0	45.9	22.5	12.3	27.3		
a-b		36.1	-30.6	23.5	-13.5	28.0	-21.4		

※網掛けは、満足計の差が30%以上の項目である

今後の居留意向別にみると、満足計の差が30%を超える項目はみられません。

(%)

【今後の居留意向】		1.ごみの処理(分別、収集回数)		2.地球温暖化対策		3.自然環境の豊かさと保全の取組み		4.道路等の水はけ、冠水対策	
		満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計
c.永住したい	500	79.2	16.8	35.8	17.0	59.4	15.8	44.6	42.6
d.移転したい計	123	52.1	42.3	23.6	18.7	34.2	26.8	26.1	53.7
c-d		27.1	-25.5	12.2	-1.7	25.2	-11.0	18.5	-11.1
【今後の居留意向】		5.防犯や交通安全対策		6.消防・防災体制		7.消費者対策(相談体制等)			
		満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計		
c.永住したい	500	51.4	32.0	62.4	15.6	29.4	18.4		
d.移転したい計	123	22.8	52.8	42.3	19.5	13.8	22.0		
c-d		28.6	-20.8	20.1	-3.9	15.6	-3.6		

※網掛けは、満足計の差が30%以上の項目である

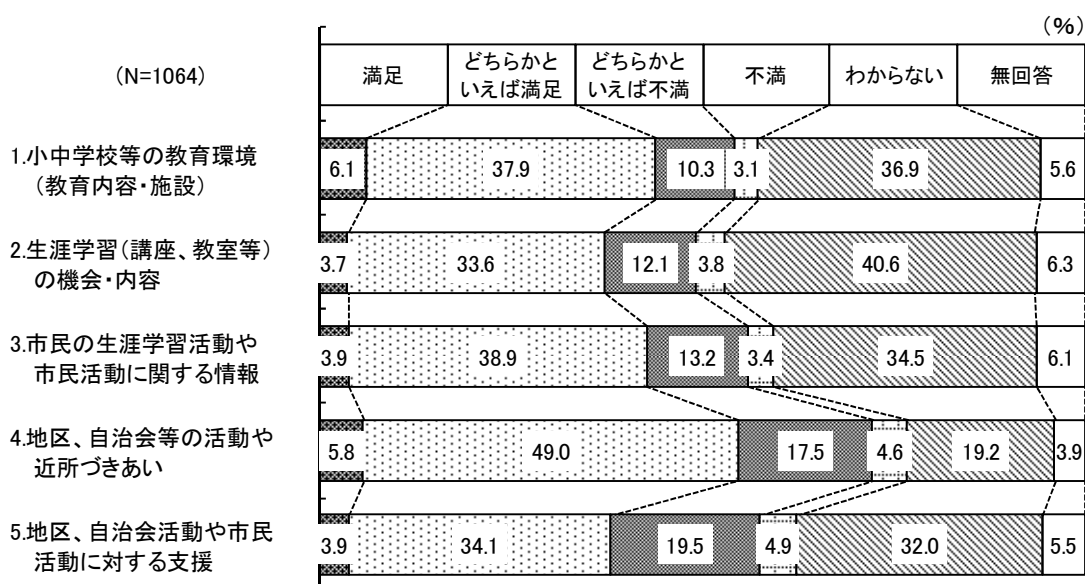
(3) 教育・生涯学習・コミュニティ

教育・生涯学習・コミュニティに関する5項目についての満足度評価をみたのが以下のグラフです。「満足」と「どちらかといえば満足」の合計値が50%を超える項目は、次の1項目のみとなっています。

【「満足」と「どちらかといえば満足」の合計値が50%を超える項目】

	満足計(%)	不満計(%)
4.地区、自治会等の活動や近所づきあい	54.8	22.1

「満足」と「どちらかといえば満足」の合計値が50%を下回り、「不満」と「どちらかといえば不満」の合計値が30%を超える項目はみられません。



前回の調査結果の満足計(「満足」+「どちらかといえば満足」)の数値を比較すると、どの項目も大きな差はみられません。

項目	満足度計 (%)	
	今回(平成27年)	前回(平成22年)
1.小中学校等の教育環境(教育内容・施設)	44.0	44.2
2.生涯学習(講座、教室等)の機会・内容	37.3	34.9
3.市民の生涯学習活動や市民活動に関する情報	42.8	42.4
4.地区、自治会等の活動や近所づきあい	54.8	54.4
5.地区、自治会活動や市民活動に対する支援	38.0	37.5

属性別にみると、性別による大きな差はみられませんが、年齢別では、「4.地区、自治会等の活動や近所づきあい」は20歳代以下、30歳代で「満足計」が半数を切り、やや評価が低くなっています。このほか、20歳代以下と40歳代で「1.小中学校等の教育環境（教育内容・施設）」の「満足計」が6割前後と多いのが目立っています。

(%)

	合計	1.小中学校等の教育環境(教育内容・施設)		2.生涯学習(講座、教室等)の機会・内容		3.市民の生涯学習活動や市民活動に関する情報		4.地区、自治会等の活動や近所づきあい		5.地区、自治会活動や市民活動に対する支援	
		満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計
【全体】	1064	44.0	13.4	37.3	15.9	42.8	16.6	54.8	22.1	38.0	24.4
【性別】											
男	474	46.4	15.8	37.3	17.3	42.4	18.8	52.9	25.1	40.9	28.0
女	567	41.6	11.6	37.0	15.2	43.1	14.8	56.5	19.6	34.9	21.9
【年齢】											
20歳代以下	87	60.9	13.7	41.3	12.6	47.1	6.8	45.9	13.8	39.0	12.6
30歳代	117	33.3	17.9	34.2	8.6	41.0	11.1	45.3	20.5	34.2	18.8
40歳代	133	57.9	17.3	40.6	17.3	45.2	13.6	53.4	20.3	38.4	22.6
50歳代	144	48.7	15.3	34.1	21.6	38.9	18.1	52.1	31.2	36.1	31.2
60歳代	255	38.4	11.8	35.7	15.7	40.0	18.1	59.6	20.8	35.6	24.3
70歳代以上	310	39.7	11.0	38.4	17.1	45.2	20.7	58.1	23.2	40.3	28.4

※網掛けは、50%以上の数値である

町の住みやすさ別にみると、5項目すべてが満足計の差30%以上であり、その中で満足計の差が最も大きいのは、「4.地区、自治会等の活動や近所づきあい」となっています。

(%)

【町の住みやすさ】	合計	1.小中学校等の教育環境(教育内容・施設)		2.生涯学習(講座、教室等)の機会・内容		3.市民の生涯学習活動や市民活動に関する情報		4.地区、自治会等の活動や近所づきあい		5.地区、自治会活動や市民活動に対する支援	
		満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計
a.大変住みやすい	134	63.4	5.2	57.4	8.2	60.5	8.9	69.4	9.7	52.2	15.7
b.住みにくい計	187	28.8	20.4	24.6	25.2	26.7	27.3	33.2	39.6	21.9	34.7
a-b		34.6	-15.2	32.8	-17.0	33.8	-18.4	36.2	-29.9	30.3	-19.0

※網掛けは、満足計の差が30%以上の項目である

今後の居留意向別にみると、満足計の差が最も大きいのは、「4.地区、自治会等の活動や近所づきあい」となっています。

(%)

【今後の居留意向】	合計	1.小中学校等の教育環境(教育内容・施設)		2.生涯学習(講座、教室等)の機会・内容		3.市民の生涯学習活動や市民活動に関する情報		4.地区、自治会等の活動や近所づきあい		5.地区、自治会活動や市民活動に対する支援	
		満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計
c.永住したい	500	47.6	10.0	43.6	11.4	49.4	14.2	64.0	19.0	43.8	24.4
d.移転したい計	123	27.7	16.3	24.4	22.8	26.8	23.5	26.0	46.3	17.9	32.5
c-d		19.9	-6.3	19.2	-11.4	22.6	-9.3	38.0	-27.3	25.9	-8.1

※網掛けは、満足計の差が30%以上の項目である

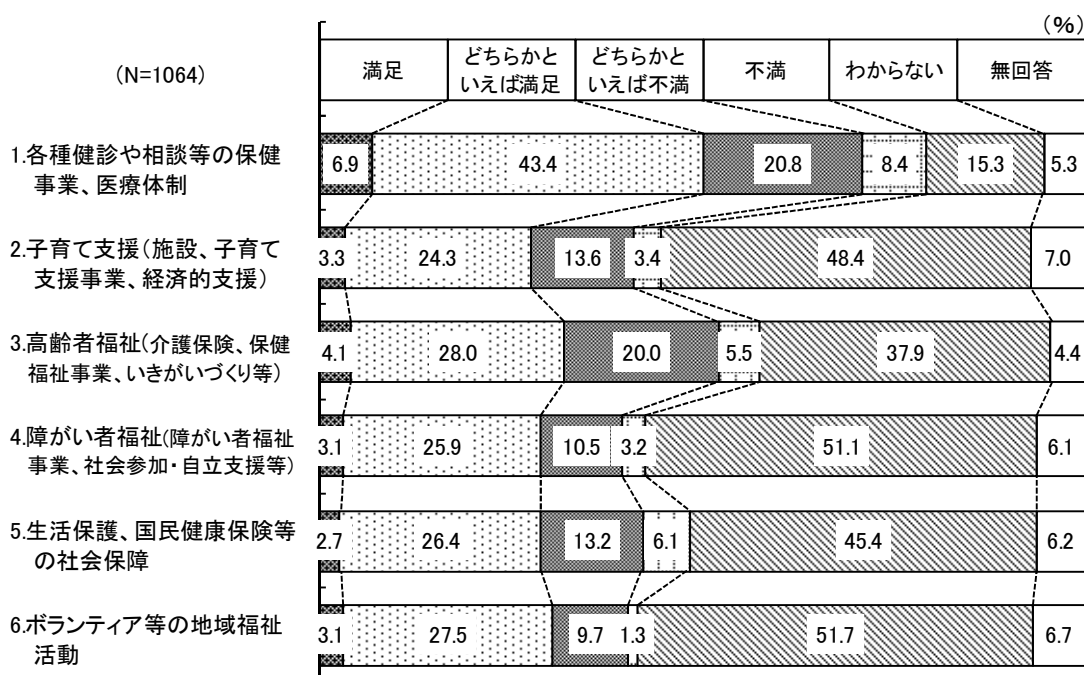
(4) 保健・医療・福祉

保健・医療・福祉に関する5項目についての満足度評価をみたのが以下のグラフです。「満足」と「どちらかといえば満足」の合計値が50%を超える項目は、次の1項目のみとなっています。

【「満足」と「どちらかといえば満足」の合計値が50%を超える項目】

	満足計(%)	不満計(%)
1. 各種健診や相談等の保健事業、医療体制	50.3	29.2

「満足」と「どちらかといえば満足」の合計値が50%を下回り、「不満」と「どちらかといえば不満」の合計値が30%を超える項目はみられません。



前回の調査結果の満足計（「満足」＋「どちらかといえば満足」）の数値を比較すると、「1. 各種健診や相談等の保健事業、医療体制」はやや評価が高くなっています。

(%)

	今回(平成27年) 満足度計	前回(平成22年) 満足度計
1.各種健診や相談等の保健事業、医療体制	50.3	45.2
2.子育て支援(施設、子育て支援事業、経済的支援)	27.6	28.5
3.高齢者福祉(介護保険、保健福祉事業、いきがづくり等)	32.1	31.2
4.障がい者福祉(障がい者福祉事業、社会参加・自立支援等)	29.0	27.9
5.生活保護、国民健康保険等の社会保障	29.1	27.6
6.ボランティア等の地域福祉活動	30.6	31.8

属性別にみると、性別による大きな差はみられませんが、年齢別では、「1. 各種健診や相談等の保健事業、医療体制」は30歳代、50歳代、60歳代で「満足計」が半数を切っています。

(%)

	合計	1.各種健診や相談等の保健事業、医療体制		2.子育て支援(施設、子育て支援事業、経済的支援)		3.高齢者福祉(介護保険、保健福祉事業、いきがづくり等)		4.障がい者福祉(障がい者福祉事業、社会参加・自立支援等)		5.生活保護、国民健康保険等の社会保障		6.ボランティア等の地域福祉活動	
		満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計
【全体】	1064	50.3	29.2	27.6	17.0	32.1	25.5	29.0	13.7	29.1	19.3	30.6	11.0
【性別】													
男	474	50.9	29.8	28.1	20.0	31.3	30.4	30.6	17.9	34.0	21.1	31.2	14.5
女	567	50.3	28.4	27.0	14.4	32.5	21.1	27.3	10.0	24.7	17.8	29.6	8.1
【年齢】													
20歳代以下	87	55.1	8.0	27.5	13.8	27.6	11.5	34.4	4.6	29.8	6.9	36.7	8.0
30歳代	117	48.7	30.8	36.7	23.9	18.8	15.4	23.9	10.2	19.6	12.8	23.9	6.0
40歳代	133	54.2	34.6	44.4	22.5	33.8	19.6	33.1	12.1	30.1	14.3	34.6	7.6
50歳代	144	47.3	41.0	32.7	22.3	34.7	31.3	32.7	14.6	27.8	20.8	32.0	11.8
60歳代	255	47.8	30.6	16.1	18.1	28.7	27.9	23.5	18.4	25.1	26.2	27.9	12.9
70歳代以上	310	52.3	24.9	24.2	10.4	38.4	30.9	30.3	13.6	35.8	20.3	30.3	13.3

※網掛けは、50%以上の数値である

町の住みやすさ別にみると、満足計の差が最も大きいのは、「3. 高齢者福祉(介護保険、保健福祉事業、いきがづくり等)」となっています。ついで、「1.各種健診や相談等の保健事業、医療体制」、「4.障がい者福祉(障がい者福祉事業、社会参加・自立支援等)」、「6.ボランティア等の地域福祉活動」がつついています。

(%)

【町の住みやすさ】		1.各種健診や相談等の保健事業、医療体制		2.子育て支援(施設、子育て支援事業、経済的支援)		3.高齢者福祉(介護保険、保健福祉事業、いきがづくり等)		4.障がい者福祉(障がい者福祉事業、社会参加・自立支援等)		5.生活保護、国民健康保険等の社会保障		6.ボランティア等の地域福祉活動	
		満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計
a.大変住みやすい	134	67.9	13.4	39.6	6.7	55.9	11.2	47.1	4.4	41.8	12.6	45.5	4.4
b.住みにくい計	187	32.0	46.0	13.4	24.6	13.9	38.5	11.8	19.3	12.3	30.5	15.5	18.7
a-b		35.9	-32.6	26.2	-17.9	42.0	-27.3	35.3	-14.9	29.5	-17.9	30.0	-14.3

※網掛けは、満足計の差が30%以上の項目である

今後の居住意向別にみると、満足計の差が30%以上の項目はみられません。

(%)

【今後の居住意向】		1.各種健診や相談等の保健事業、医療体制		2.子育て支援(施設、子育て支援事業、経済的支援)		3.高齢者福祉(介護保険、保健福祉事業、いきがづくり等)		4.障がい者福祉(障がい者福祉事業、社会参加・自立支援等)		5.生活保護、国民健康保険等の社会保障		6.ボランティア等の地域福祉活動	
		満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計
c.永住したい	500	58.2	24.0	31.8	15.4	40.2	24.8	33.8	14.2	35.4	19.0	36.0	10.6
d.移転したい計	123	31.7	43.9	12.2	17.9	10.6	31.7	10.5	14.6	8.9	26.8	13.8	14.7
c-d		26.5	-19.9	19.6	-2.5	29.6	-6.9	23.3	-0.4	26.5	-7.8	22.2	-4.1

※網掛けは、満足計の差が30%以上の項目である

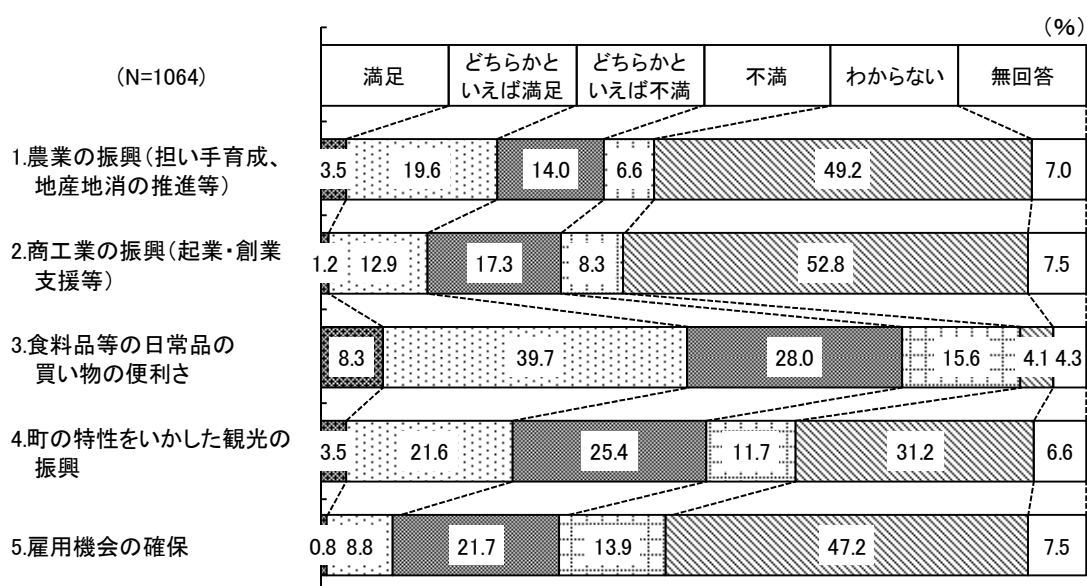
(5) 産業

産業に関する5項目についての満足度評価をみたのが以下のグラフです。「満足」と「どちらかといえば満足」の合計値が50%を超える項目はみられません

一方、「満足」と「どちらかといえば満足」の合計値が50%を下回り、「不満」と「どちらかといえば不満」の合計値が30%を超える項目は、以下の3項目となっています。

【「不満」と「どちらかといえば不満」の合計値が30%を超える項目】

	満足計(%)	不満計(%)
3. 食料品等の日用品の買い物の便利さ	48.0	43.6
4. 町の特性をいかした観光の振興	25.1	37.1
5. 雇用機会の確保	9.6	35.6



前回の調査結果の満足計（「満足」＋「どちらかといえば満足」）の数値を比較すると、どの項目も大きな差はみられません。

	今回(平成27年) 満足度計	前回(平成22年) 満足度計
1. 農業の振興(担い手育成、地産地消の推進等)	23.1	21.6
2. 商工業の振興(起業・創業支援等)	14.1	12.9
3. 食料品等の日用品の買い物の便利さ	48.0	49.7
4. 町の特性をいかした観光の振興	25.1	27.1
5. 雇用機会の確保	9.6	7.4

属性別にみると、性別では、「3. 食料品等の日常品の買い物の便利さ」は男性で「満足計」がやや多くなっています。年齢別では、「3. 食料品等の日常品の買い物の便利さ」は20歳代以下で「満足計」がやや多くなっていますが、40歳代では「不満計」がやや多くなっています。

(%)

	合計	1.農業の振興(担い手育成、地産地消の推進等)		2.商工業の振興(起業・創業支援等)		3.食料品等の日常品の買い物の便利さ		4.町の特性をいかした観光の振興		5.雇用機会の確保	
		満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計
【全体】	1064	23.1	20.6	14.1	25.6	48.0	43.6	25.1	37.1	9.6	35.6
【性別】											
男	474	24.9	27.7	16.5	32.5	50.4	41.6	24.7	43.2	10.0	40.8
女	567	21.7	15.2	12.3	20.1	45.9	45.4	25.6	32.3	9.9	31.2
【年齢】											
20歳代以下	87	35.6	19.5	21.8	22.9	50.5	37.9	35.6	35.6	18.4	28.7
30歳代	117	26.5	15.4	16.3	23.9	49.6	41.0	35.9	25.6	11.1	41.8
40歳代	133	36.1	15.8	21.1	21.8	44.3	50.4	33.8	33.9	14.3	33.8
50歳代	144	20.9	27.7	13.9	35.4	46.6	49.3	27.8	43.0	11.1	50.0
60歳代	255	17.3	25.5	7.8	28.6	48.6	45.5	17.3	42.3	5.9	37.2
70歳代以上	310	19.7	17.7	13.8	21.6	47.8	39.7	20.3	36.1	7.8	28.1

※網掛けは、50%以上の数値である

町の住みやすさ別にみると、満足計の差が最も大きいのは、「3. 食料品等の日常品の買い物の便利さ」となっています。ついで、「4.町の特性をいかした観光の振興」がつづいています。

(%)

【町の住みやすさ】		1.農業の振興(担い手育成、地産地消の推進等)		2.商工業の振興(起業・創業支援等)		3.食料品等の日常品の買い物の便利さ		4.町の特性をいかした観光の振興		5.雇用機会の確保	
		満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計
a.大変住みやすい	134	35.1	9.7	24.6	13.4	74.6	14.1	41.0	20.2	17.9	21.7
b.住みにくい計	187	16.6	27.8	3.7	36.9	23.5	67.4	7.5	49.7	1.6	47.1
a-b		18.5	-18.1	20.9	-23.5	51.1	-53.3	33.5	-29.5	16.3	-25.4

※網掛けは、満足計の差が30%以上の項目である

今後の居住意向別にみると、満足計の差が30%を超える項目はみられません。

(%)

【今後の居住意向】		1.農業の振興(担い手育成、地産地消の推進等)		2.商工業の振興(起業・創業支援等)		3.食料品等の日常品の買い物の便利さ		4.町の特性をいかした観光の振興		5.雇用機会の確保	
		満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計
c.永住したい	500	23.2	21.0	15.4	23.2	54.0	37.6	25.2	36.0	11.2	29.8
d.移転したい計	123	18.7	25.2	6.5	35.0	26.0	65.1	16.2	42.3	3.3	43.0
c-d		4.5	-4.2	8.9	-11.8	28.0	-27.5	9.0	-6.3	7.9	-13.2

※網掛けは、満足計の差が30%以上の項目である

(6) 行財政運営

行財政運営に関する6項目についての満足度評価をみたのが次ページのグラフです。「満足」と「どちらかといえば満足」の合計値が50%を超える項目は、次の1項目のみとなっています。

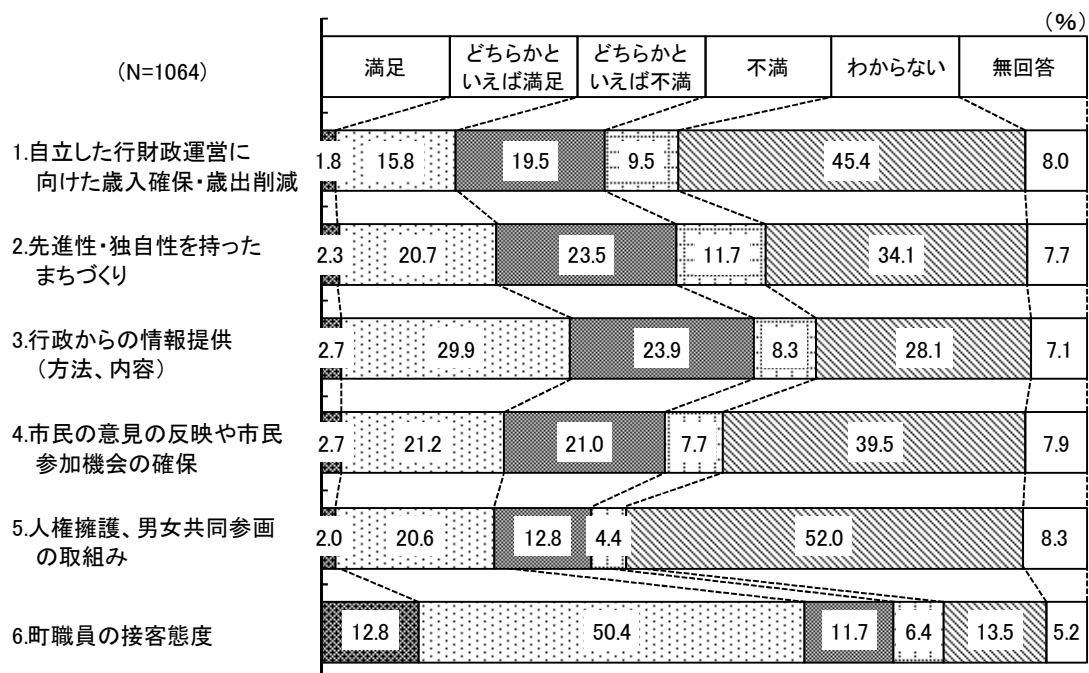
【「満足」と「どちらかといえば満足」の合計値が50%を超える項目】

	満足計(%)	不満計(%)
6. 町職員の接客態度	63.2	18.1

これに対し、「満足」と「どちらかといえば満足」の合計値が50%を下回り、「不満」と「どちらかといえば不満」の合計値が30%を超える項目は、以下の2項目となっています。

【「不満」と「どちらかといえば不満」の合計値が30%を超える項目】

	満足計(%)	不満計(%)
2. 先進性・独自性を持ったまちづくり	23.0	35.2
3. 行政からの情報提供(方法、内容)	32.6	32.2



前回の調査結果の満足計（「満足」＋「どちらかといえば満足」）の数値を比較すると、どの項目も大きな差はみられません。

(%)

	今回(平成27年) 満足度計	前回(平成22年) 満足度計
1.自立した行財政運営に向けた歳入確保・歳出削減	17.6	21.2
2.先進性・独自性を持ったまちづくり	23.0	27.7
3.行政からの情報提供(方法、内容)	32.6	35.8
4.市民の意見の反映や市民参加機会の確保	23.9	28.3
5.人権擁護、男女共同参画の取組み	22.6	24.9
6.町職員の接客態度	63.2	60.1

属性別にみると、性別では、女性に比べ男性の「不満計」が押しなべて多くなっています。年齢別では、50歳代の「不満計」が他の年齢層に比べ多くなっています。

		1.自立した行財政運営に向けた歳入確保・歳出削減		2.先進性・独自性を持ったまちづくり		3.行政からの情報提供(方法、内容)		4.市民の意見の反映や市民参加機会の確保		5.人権擁護、男女共同参画の取組み		6.町職員の接客態度	
合計		満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計
【全体】	1064	17.6	29.0	23.0	35.2	32.6	32.2	23.9	28.7	22.6	17.2	63.2	18.1
【性別】													
男	474	22.1	37.6	24.7	40.1	34.8	37.3	23.6	36.5	25.7	21.8	59.7	21.7
女	567	13.6	22.6	21.3	32.1	30.9	28.4	23.8	22.4	20.0	13.2	66.2	15.0
【年齢】													
20歳代以下	87	28.7	18.3	37.9	23.0	40.2	16.0	31.0	19.5	31.0	11.5	59.8	18.4
30歳代	117	16.2	29.9	26.5	33.3	30.8	36.8	20.5	24.8	19.6	9.4	59.0	23.1
40歳代	133	20.3	21.8	31.6	27.9	35.4	30.9	22.5	30.0	27.1	14.3	63.1	21.8
50歳代	144	15.3	40.3	23.6	42.4	32.0	39.6	23.6	37.5	20.9	27.7	56.3	24.3
60歳代	255	13.0	31.4	16.9	40.4	31.0	35.3	21.6	29.1	18.5	18.8	66.3	17.3
70歳代以上	310	18.7	28.4	18.7	35.5	32.3	30.0	25.8	27.7	23.8	16.8	67.1	12.3

※網掛けは、50%以上の数値である

町の住みやすさ別にみると、満足計の差が最も大きいのは、「2. 先進性・独自性を持ったまちづくり」となっています。

【町の住みやすさ】		1.自立した行財政運営に向けた歳入確保・歳出削減		2.先進性・独自性を持ったまちづくり		3.行政からの情報提供(方法、内容)		4.市民の意見の反映や市民参加機会の確保		5.人権擁護、男女共同参画の取組み		6.町職員の接客態度	
		満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計
a.大変住みやすい	134	29.8	17.9	41.0	20.9	45.5	15.6	37.3	14.1	30.6	12.7	75.4	5.2
b.住みにくい計	187	8.0	41.2	9.6	51.9	17.6	44.9	11.2	43.3	7.5	23.0	49.2	30.0
a-b		21.8	-23.3	31.4	-31.0	27.9	-29.3	26.1	-29.2	23.1	-10.3	26.2	-24.8

※網掛けは、満足計の差が30%以上の項目である

今後の居住意向別にみると、満足計の差が30%以上の項目はみられません。

【今後の居住意向】		1.自立した行財政運営に向けた歳入確保・歳出削減		2.先進性・独自性を持ったまちづくり		3.行政からの情報提供(方法、内容)		4.市民の意見の反映や市民参加機会の確保		5.人権擁護、男女共同参画の取組み		6.町職員の接客態度	
		満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計	満足計	不満計
c.永住したい	500	21.6	29.2	25.0	34.8	38.8	30.4	27.6	27.2	27.0	16.0	68.0	14.8
d.移転したい計	123	11.4	33.3	11.4	46.3	17.1	39.9	13.8	35.0	10.6	16.2	47.2	30.1
c-d		10.2	-4.1	13.6	-11.5	21.7	-9.5	13.8	-7.8	16.4	-0.2	20.8	-15.3

※網掛けは、満足計の差が30%以上の項目である

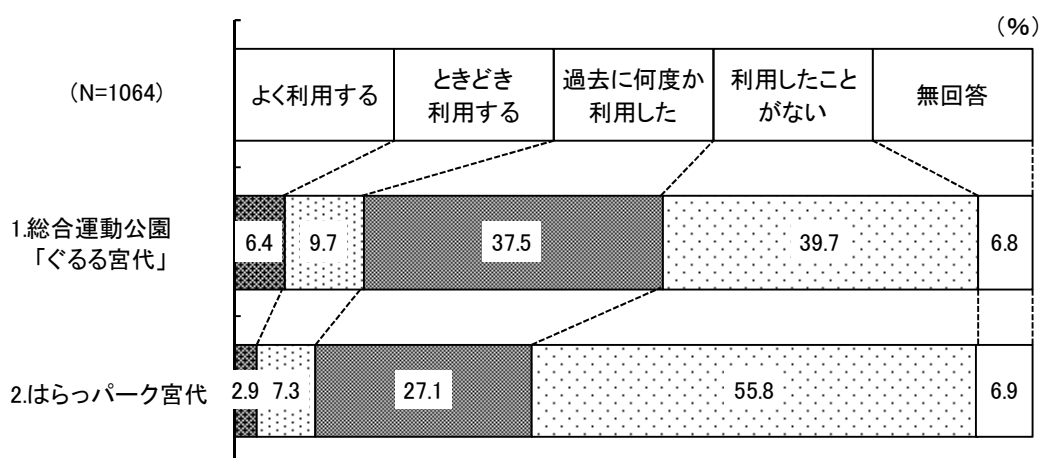
3. 公共施設の利用頻度と利用満足度

問4 あなたの公共施設の“利用頻度”と“満足度”についておたずねします。次の施設について、お答え下さい。(〇は1つずつ)

(1) スポーツ関連施設

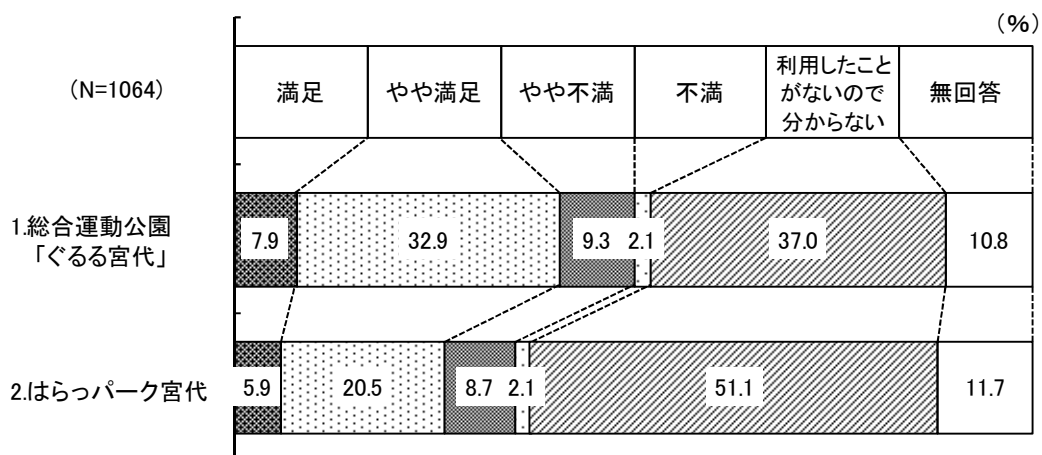
スポーツ関連施設の利用頻度をみると、「よく利用する」、「ときどき利用する」、「過去に何度か利用した」を合わせた利用率（以下同）は、「1.総合運動公園『ぐるる宮代』」が 53.6%、「はらっパーク宮代」が 37.3%となっています。

【利用頻度】



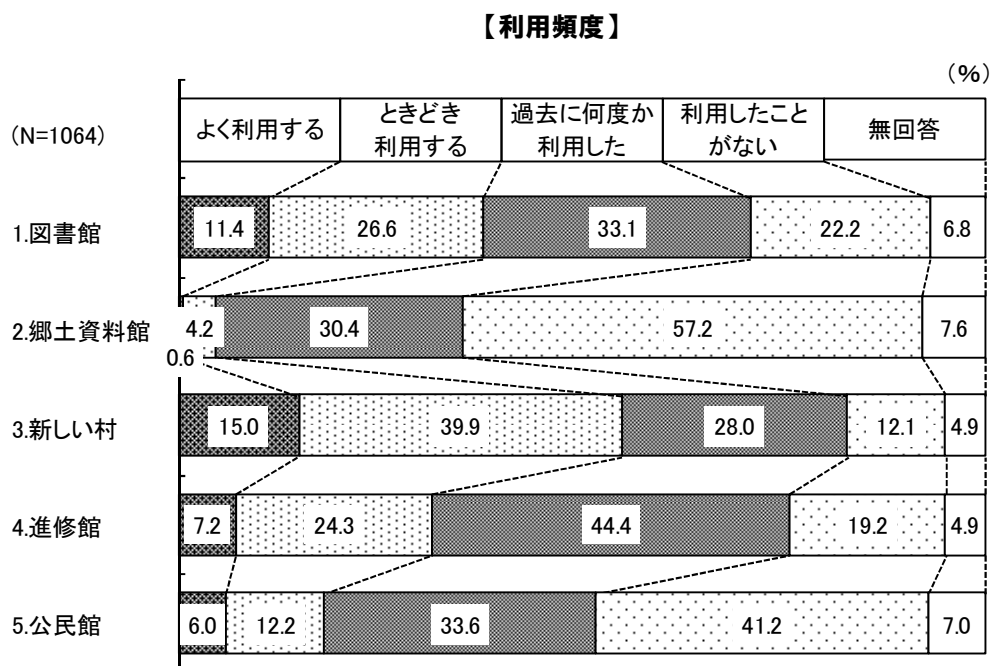
スポーツ関連施設の利用満足度をみると、「満足」、「やや満足」を合わせた“満足度”（以下同）は、「1.総合運動公園『ぐるる宮代』」では 40.8%、「はらっパーク宮代」では 26.4%となっており、「不満」、「やや不満」を合わせた“不満度”（以下同）は両施設とも 1 割強となっています。

【利用満足度】

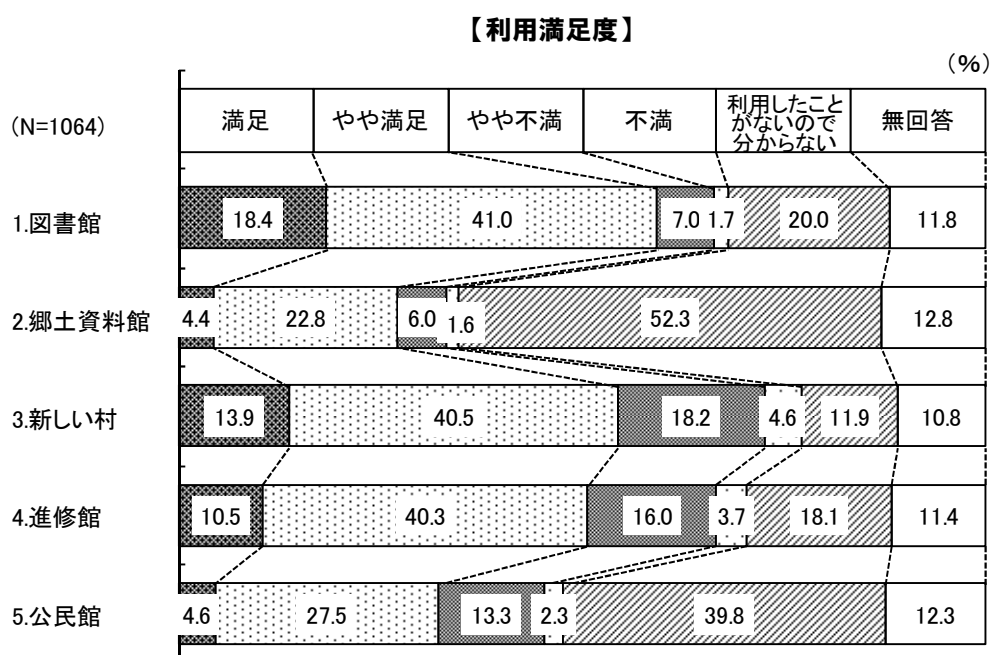


(2) 生涯学習関連施設

生涯学習関連施設の利用率をみると、「3.新しい村」が最も高く82.9%となっています。以下、「4.進修館」(75.9%)、「1.図書館」(71.1%)、「公民館」(51.8%)、「郷土資料館」(35.2%) でつづいています。なお、「3.新しい村」については、「ときどき利用する」とする人が4割を占め、比較的高い頻度で利用されています。



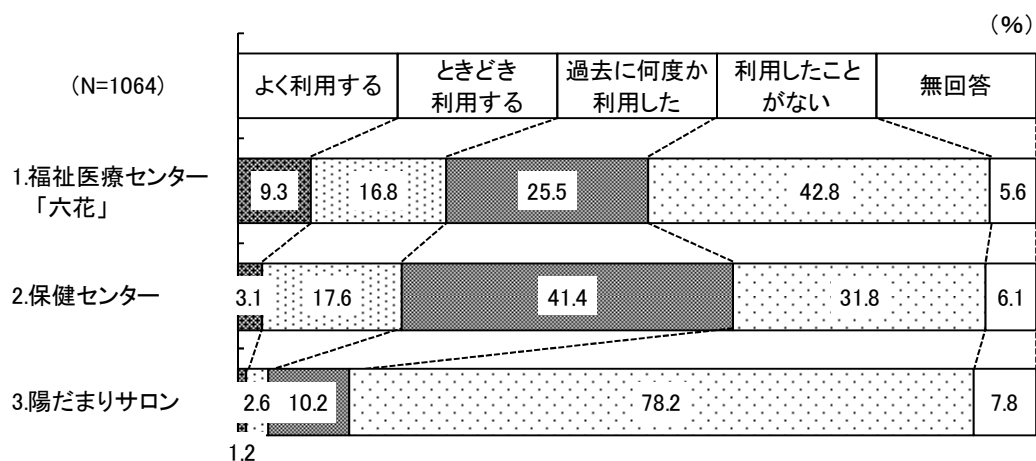
生涯学習関連施設の“満足度”は、「1.図書館」(59.4%)、「3.新しい村」(54.4%)、「4.進修館」(50.8%)の3施設では半数を超え、比較的良好な評価が得られていますが、このうち「3.新しい村」と「4.進修館」の“不満度”は20%前後となっています。



(3) 福祉関連施設

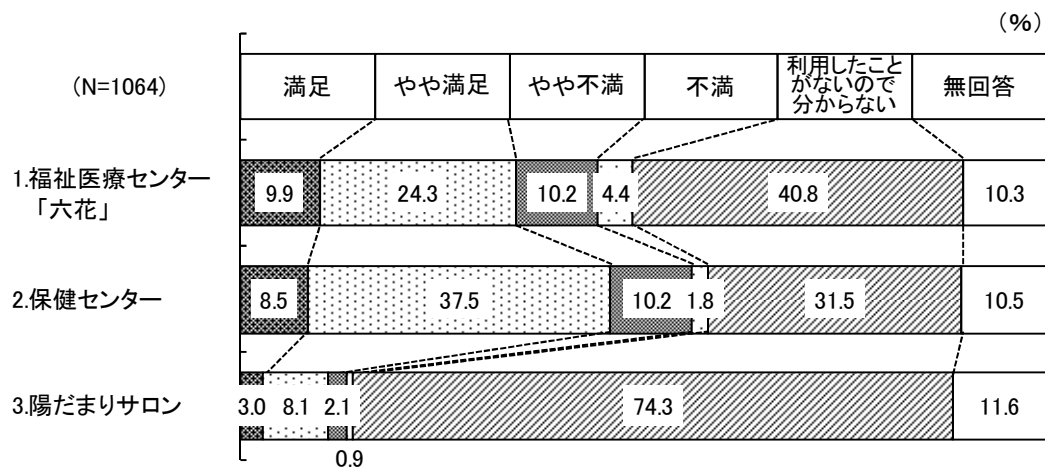
福祉関連施設の利用率をみると、「2.保健センター」が最も高く 62.1%となっています。以下、「1.福祉医療センター『六花』」が 51.6%でつづいています。「3.陽だまりサロン」の利用率は 14.0%となっています。

【利用頻度】



福祉関連施設の“満足度”は、「2.保健センター」が 46.0%、「1.福祉医療センター『六花』」が 34.2%となっています。

【利用満足度】

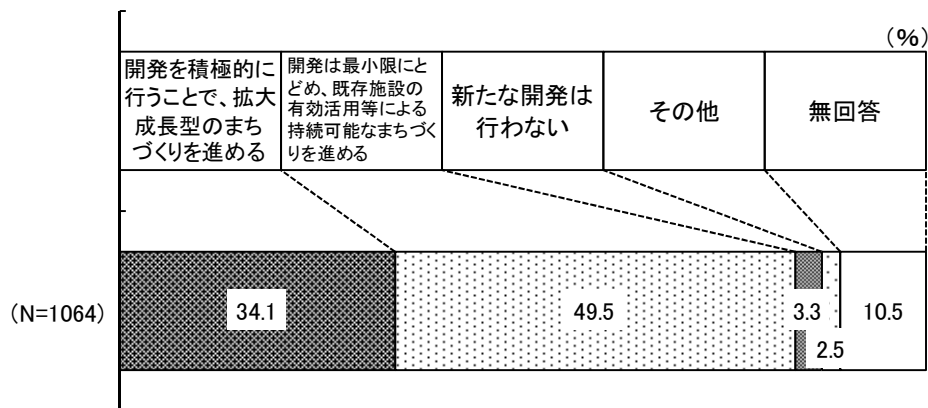


4. 今後のまちづくりの基本的方向性について

(1) 都市開発のあり方について

今後の都市開発のあり方については、「開発は最小限にとどめ、既存施設の有効活用等による持続可能なまちづくりを進める」との考えが49.5%とほぼ半数を占め、「開発を積極的に行うことで、拡大成長型のまちづくりを進める」(34.1%)との考えを上回っています。

問5 今後、人口減少・高齢化が進行していく中で、大規模な住宅地や商業施設、工業団地等の都市開発のあり方についてどのように考えますか。(1つに○)



前回の調査結果と比較すると、「開発は最小限にとどめ、既存施設の有効活用等による持続可能なまちづくりを進める」との考えが少なくなり、「開発を積極的に行うことで、拡大成長型のまちづくりを進める」との考えがやや増加しています。

	合計	開発を積極的に行うことで、拡大成長型のまちづくりを進める	開発は最小限にとどめ、既存施設の有効活用等による持続可能なまちづくりを進める	新たな開発は行わない	その他	無回答
今回(平成27年)	1,064	34.1	49.5	3.3	2.5	10.5
前回(平成22年)	1,262	28.1	56.9	3.5	3.2	8.3

属性別にみると、性別や年齢別では、各層とも「開発は最小限にとどめ、既存施設の有効活用等による持続可能なまちづくりを進める」との考えが多くなっています。町の住みよさ別や今後の居留意向別で見ると、あまり住みよくない・住みにくいとしている人、できれば移転したい・移転するとしている人は、「開発を積極的に行うことで、拡大成長型のまちづくりを進める」との考えが5割前後と多くなっています。

(%)

	合計	開発を積極的に行うことで、拡大成長型のまちづくりを進める	開発は最小限にとどめ、既存施設の有効活用等による持続可能なまちづくりを進める	新たな開発は行わない	その他	無回答
【全体】	1,064	34.1	49.5	3.3	2.5	10.5
【性別】						
男	474	35.9	48.7	3.8	3.0	8.6
女	567	33.2	50.4	2.8	2.3	11.3
【年齢】						
20歳代以下	87	31.0	56.3	6.9	0.0	5.7
30歳代	117	34.2	47.0	3.4	6.8	8.5
40歳代	133	39.8	46.6	1.5	3.0	9.0
50歳代	144	35.4	50.0	4.2	2.1	8.3
60歳代	255	33.7	52.2	2.7	2.4	9.0
70歳代以上	310	32.9	47.7	2.9	1.9	14.5
【町の住みやすさ】						
大変住みやすい	134	▲ 23.1	57.5	6.0	2.2	11.2
どちらかといえば住みやすい	655	32.8	52.1	2.4	2.4	10.2
あまり住みよくない・住みにくい	187	○ 49.2	▲ 35.8	4.3	3.2	7.5
【今後の居留意向】						
永住したい	500	32.6	52.4	3.0	0.8	11.2
当分の間住みたい	406	31.0	53.2	2.7	4.2	8.9
できれば移転したい・移転する	123	○ 53.7	● 30.1	5.7	4.9	5.7

※全体より ☆: +20%以上、○: +15%以上～20%未満、△: +10%以上～15%未満

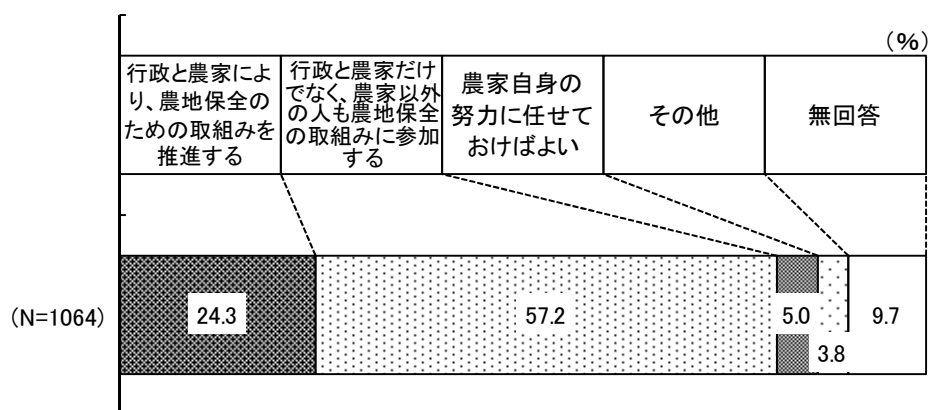
★: -20%以上、●: -15%以上～20%未満、▲: -10%以上～15%未満

※網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

(2) 田園景観減少への対応

田園景観減少への対応については、「行政と農家だけでなく、農家以外の人も農地保全の取組みに参加する」との考えが57.2%と6割近くを占め、「行政と農家により、農地保全のための取組みを推進する」(24.3%)との考えを上回っています。

問6 宮代町を象徴する田んぼや畑、屋敷林、雑木林等の田園景観については、今後、農家の後継者不足等により、さらに減少していくことが見込まれます。こうした状況に、あなたはどのように対応していくべきと思いますか。(1つに〇)



前回の調査結果と比較すると、「行政と農家だけでなく、農家以外の人も農地保全の取組みに参加する」との考えが多数を占め、大きな変化はみられません。

	合計	行政と農家により、農地保全のための取組みを推進する	行政と農家だけでなく、農家以外の人も農地保全の取組みに参加する	農家自身の努力に任せておけばよい	その他	無回答
今回(平成27年)	1,064	24.3	57.2	5.0	3.8	9.7
前回(平成22年)	1,262	22.6	60.1	6.1	3.6	7.5

性別や年齢別にみると、各層とも「行政と農家だけでなく、農家以外の人も農地保全の取組みに参加する」との考えが多くなっています。

(%)

	合計	行政と農家により、農地保全のための取組みを推進する	行政と農家だけでなく、農家以外の人も農地保全の取組みに参加する	農家自身の努力に任せておけばよい	その他	無回答
【全体】	1,064	24.3	57.2	5.0	3.8	9.7
【性別】						
男	474	25.3	55.3	5.7	4.4	9.3
女	567	24.3	58.4	4.6	3.2	9.5
【年齢】						
20歳代以下	87	33.3	57.5	3.4	1.1	4.6
30歳代	117	26.5	53.8	6.0	6.0	7.7
40歳代	133	25.6	60.2	6.0	2.3	6.0
50歳代	144	22.2	63.9	2.8	2.8	8.3
60歳代	255	25.1	60.4	3.1	3.9	7.5
70歳代以上	310	21.9	51.6	7.4	4.5	14.5

※全体より ☆: +20%以上、○: +15%以上～20%未満、△: +10%以上～15%未満

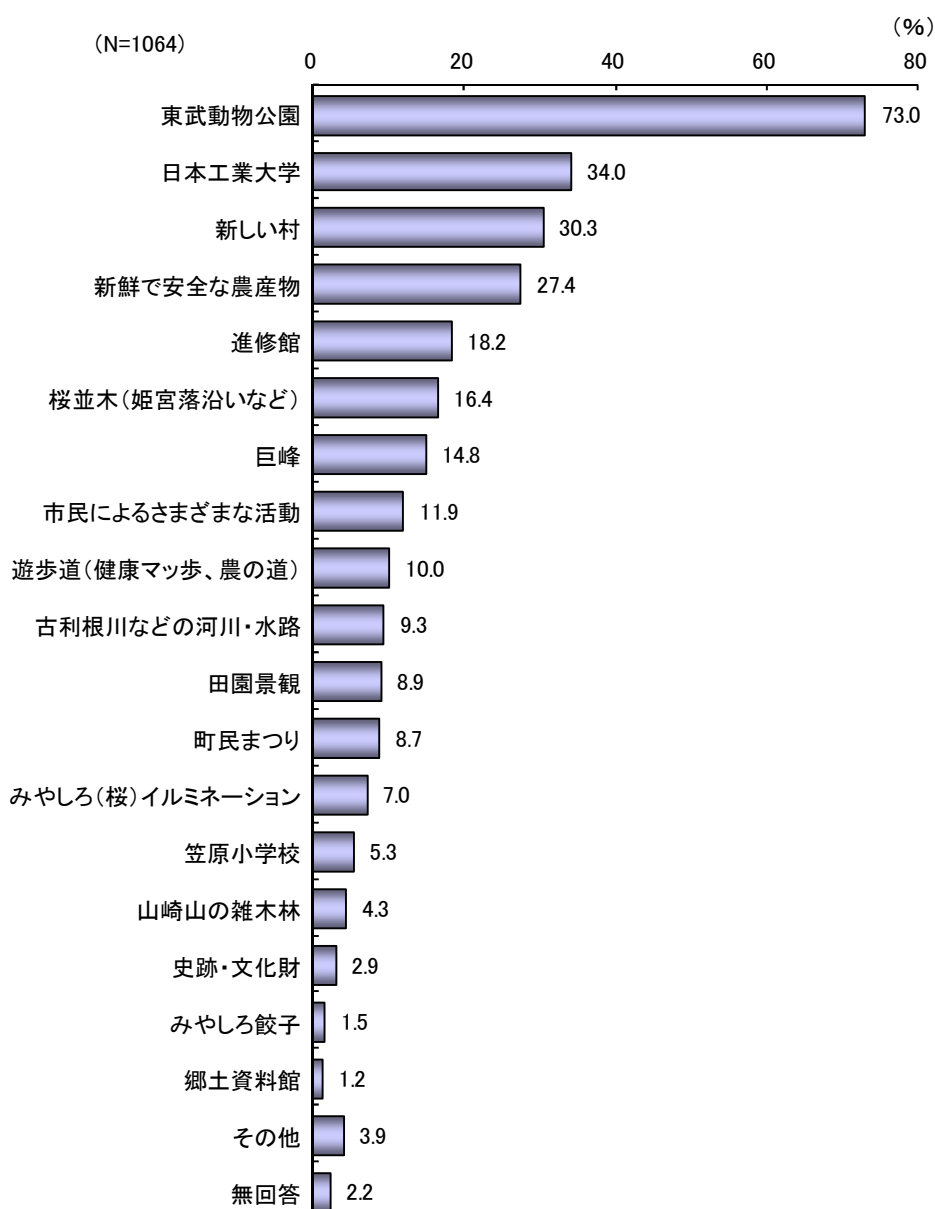
★: -20%以上、●: -15%以上～20%未満、▲: -10%以上～15%未満

※網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

(3) 活用すべき資源

町の魅力の向上やにぎわいの創出を図っていく上で、特に重視あるいは活用すべきと思う資源としては、「東武動物公園」が73.0%と7割を超え多数を占めています。ついで、「日本工業大学」(34.0%)、「新しい村」(30.3%)が30%台でつづいています。

問7 今後、町の魅力の向上やにぎわいの創出を図っていく上で、特に重視あるいは活用すべきと思う資源（宮代町の特長・強み）は何だと思えますか。（3つに〇）



上位にあげられた資源を前回の調査結果と比較しても、大きな変化はみられません。

(%)

	合計	東武動物公園	日本工業大学	新しい村	新鮮で安全な農産物	進修館	桜並木(姫宮落沿いなど)	巨峰
今回(平成27年)	1,064	73.0	34.0	30.3	27.4	18.2	16.4	14.8
前回(平成22年)	1,262	68.0	29.7	36.1	30.8	21.9	18.9	14.6

性別や年齢別にみても、各層とも「東武動物公園」をあげる人が多数を占めています。

(%)

	合計	東武動物公園	日本工業大学	新しい村	新鮮で安全な農産物	進修館	桜並木(姫宮落沿いなど)	巨峰
【全体】	1,064	73.0	34.0	30.3	27.4	18.2	16.4	14.8
【性別】								
男	474	71.1	36.1	23.8	27.0	18.4	11.8	14.3
女	567	75.0	32.1	36.2	28.2	18.2	20.1	15.2
【年齢】								
20歳代以下	87	△ 86.2	▲ 21.8	31.0	▲ 17.2	25.3	6.9	17.2
30歳代	117	80.3	30.8	36.8	18.8	△ 32.5	13.7	16.2
40歳代	133	79.7	30.8	33.8	24.8	21.8	10.5	14.3
50歳代	144	70.8	29.9	38.2	29.9	11.1	14.6	18.1
60歳代	255	72.9	33.7	27.8	31.8	11.4	20.8	16.9
70歳代以上	310	66.1	42.3	25.5	31.0	18.4	20.0	10.3

	合計	市民によるさまざまな活動	遊歩道(健康マッパ、農の道)	古利根川などの河川・水路	田園景観	町民まつり	みやしろ(桜)イルミネーション	笠原小学校
【全体】	1,064	11.9	10.0	9.3	8.9	8.7	7.0	5.3
【性別】								
男	474	14.1	11.0	13.5	9.5	9.5	7.0	4.6
女	567	10.2	9.3	5.8	8.6	7.9	7.1	5.6
【年齢】								
20歳代以下	87	8.0	3.4	3.4	17.2	10.3	13.8	9.2
30歳代	117	8.5	6.0	2.6	6.8	15.4	6.8	10.3
40歳代	133	16.5	3.0	8.3	8.3	9.0	12.0	6.0
50歳代	144	16.0	9.0	6.3	11.8	8.3	2.8	5.6
60歳代	255	9.8	14.9	11.8	9.0	7.1	5.1	3.9
70歳代以上	310	12.3	12.9	13.5	6.5	6.8	6.5	2.6

	合計	山崎山の雑木林	史跡・文化財	みやしろ餃子	郷土資料館	その他	無回答
【全体】	1,064	4.3	2.9	1.5	1.2	3.9	2.2
【性別】							
男	474	4.4	4.0	1.9	1.7	5.1	2.7
女	567	4.2	2.1	1.2	0.7	2.8	1.2
【年齢】							
20歳代以下	87	3.4	1.1	2.3	1.1	5.7	1.1
30歳代	117	0.9	0.9	3.4	0.9	4.3	0.0
40歳代	133	6.0	2.3	0.8	0.8	6.8	0.8
50歳代	144	4.9	6.3	2.1	2.1	4.9	0.7
60歳代	255	4.7	1.6	1.2	0.0	3.1	2.0
70歳代以上	310	4.5	4.2	1.0	1.9	1.9	3.9

※全体より ☆: +20%以上、○: +15%以上~20%未満、△: +10%以上~15%未満

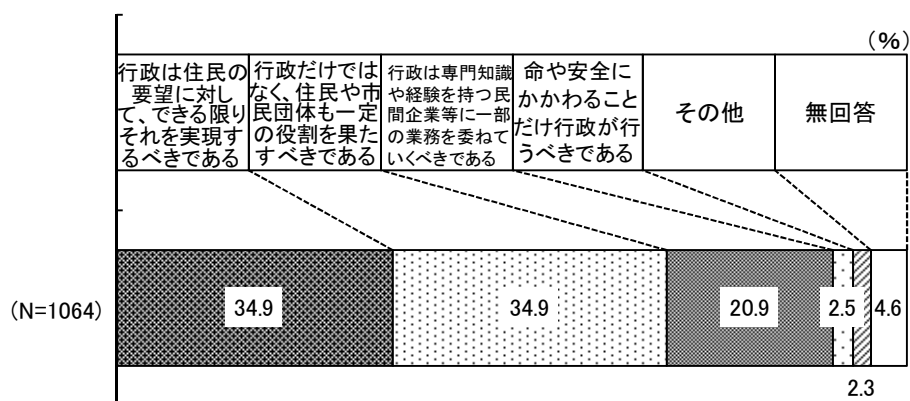
★: -20%以上、●: -15%以上~20%未満、▲: -10%以上~15%未満

※網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

(4) 今後の行政サービスのあり方

今後の行政サービスのあり方については、「行政は住民の要望に対して、できる限りそれを実現すべきである」との考えと「行政だけではなく、住民や市民団体も一定の役割を果たすべきである」が 34.9% で同率となっています。「行政は専門知識や経験を持つ民間企業等に一部の業務を委ねていくべきである」との考えは 20.9% となっています。

問8 今後の行政サービスのあり方についてどう思いますか。(1つに○)



前回の調査結果と比較すると、「行政だけではなく、住民や市民団体も一定の役割を果たすべきである」との考えがやや少なくなっています。

	合計	行政は住民の要望に対して、できる限りそれを実現すべきである	行政だけではなく、住民や市民団体も一定の役割を果たすべきである	行政は専門知識や経験を持つ民間企業等に一部の業務を委ねていくべきである	命や安全にかかわることだけ行政が行うべきである	その他	無回答
今回(平成27年)	1,064	34.9	34.9	20.9	2.5	2.3	4.6
前回(平成22年)	1,262	31.4	39.6	20.6	2.5	1.4	4.5

属性別にみると、性別では、あまり大きな差はみられません。年齢別でも大きな差はみられませんが、30歳代、50歳代では「行政は住民の要望に対して、できる限りそれを実現すべきである」との考えが「行政だけではなく、住民や市民団体も一定の役割を果たすべきである」との考えを7～8ポイントほど上回っています。

(%)

	合計	行政は住民の要望に対して、できる限りそれを実現すべきである	行政だけではなく、住民や市民団体も一定の役割を果たすべきである	行政は専門知識や経験を持つ民間企業等に一部の業務を委ねていくべきである	命や安全にかかわることだけ行政が行うべきである	その他	無回答
【全体】	1,064	34.9	34.9	20.9	2.5	2.3	4.6
【性別】							
男	474	32.7	34.8	20.9	4.4	3.2	4.0
女	567	36.5	35.4	20.8	0.9	1.6	4.8
【年齢】							
20歳代以下	87	37.9	40.2	13.8	4.6	1.1	2.3
30歳代	117	36.8	28.2	29.1	0.9	3.4	1.7
40歳代	133	33.8	36.1	22.6	3.8	3.0	0.8
50歳代	144	37.5	29.9	26.4	3.5	1.4	1.4
60歳代	255	36.9	35.3	18.4	1.2	2.7	5.5
70歳代以上	310	31.0	38.1	18.4	2.6	1.9	8.1

※全体より ☆: +20%以上、○: +15%以上～20%未満、△: +10%以上～15%未満

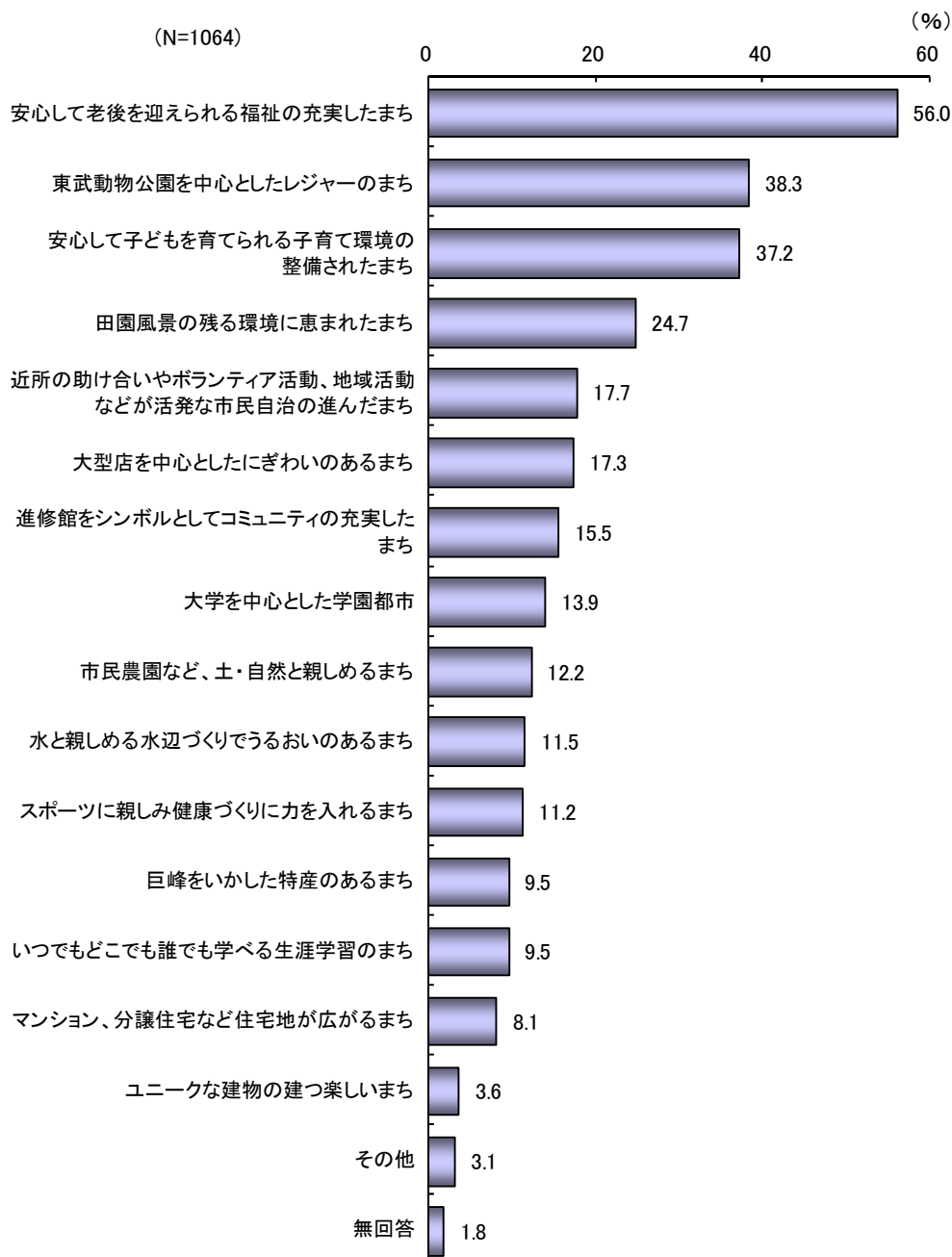
★: -20%以上、●: -15%以上～20%未満、▲: -10%以上～15%未満

※網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

(5) 目指すべきまちづくりの方向

目指すべきまちづくりの方向については、「安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち」が 56.0% と半数を超え最も多くなっています。ついで、「東武動物公園を中心としたレジャーのまち」(38.3%) と「安心して子どもを育てられる子育て環境の整備されたまち」(37.2%) が 4 割弱でつづいています。

問9 あなたは、宮代町が今後どのようなまちづくりを目指すべきだと思いますか。(3つに〇)



上位にあげられた項目を前回の調査結果と比較しても、ほぼ順位の変動はみられません。

(%)

	合計	安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち	東武動物公園を中心としたレジャーのまち	安心して子どもを育てられる子育て環境の整備されたまち	田園風景の残る環境に恵まれたまち	近所の助け合いやボランティア活動、地域活動などが活発な市民自治の進んだまち	大型店を中心としたにぎわいのあるまち	進修館をシンボルとしてコミュニティの充実したまち
今回(平成27年)	1,064	56.0	38.3	37.2	24.7	17.7	17.3	15.5
前回(平成22年)	1,262	59.7	32.3	36.8	28.9	19.3	12.6	17.3

属性別にみると、性別では、あまり大きな差はみられませんが、年齢別では、20歳代以下は「東武動物公園を中心としたレジャーのまち」、30歳代は「安心して子どもを育てられる子育て環境の整備されたまち」、40歳代以上は「安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち」が最も多くあげられています。

(%)

	合計	安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち	東武動物公園を中心としたレジャーのまち	安心して子どもを育てられる子育て環境の整備されたまち	田園風景の残る環境に恵まれたまち	近所の助け合いやボランティア活動、地域活動などが活発な市民自治の進んだまち	大型店を中心としたにぎわいのあるまち	進修館をシンボルとしてコミュニティの充実したまち	大学を中心とした学園都市
【全体】	1,064	56.0	38.3	37.2	24.7	17.7	17.3	15.5	13.9
【性別】									
男	474	46.6	41.6	32.9	23.6	16.5	17.9	15.2	18.4
女	567	63.5	36.3	41.4	25.7	18.5	16.9	15.2	10.1
【年齢】									
20歳代以下	87	★ 25.3	○ 55.2	△ 48.3	26.4	17.2	16.1	18.4	10.3
30歳代	117	▲ 42.7	43.6	☆ 62.4	19.7	11.1	15.4	14.5	14.5
40歳代	133	49.6	43.6	42.9	21.1	11.3	22.6	15.0	8.3
50歳代	144	56.9	36.1	34.7	31.3	14.6	22.2	9.7	9.7
60歳代	255	△ 67.1	31.8	38.4	27.5	22.0	14.9	12.5	12.2
70歳代以上	310	62.3	36.8	▲ 22.9	22.3	21.3	16.5	19.4	20.6

	合計	市民農園など、土・自然と親しめるまち	水と親しめる水辺づくりでうるおいのあるまち	スポーツに親しみ健康づくりに力を入れるまち	巨峰をいかした特産のあるまち	いつでもどこでも誰でも学べる生涯学習のまち	マンション、分譲住宅など住宅地が広がるまち	ユニークな建物の建つ楽しいまち	その他	無回答
【全体】	1,064	12.2	11.5	11.2	9.5	9.5	8.1	3.6	3.1	1.8
【性別】										
男	474	12.7	14.6	12.9	9.1	9.5	10.3	4.4	4.4	1.7
女	567	12.0	8.6	10.1	9.7	9.7	6.5	3.0	2.1	1.4
【年齢】										
20歳代以下	87	20.7	12.6	10.3	6.9	9.2	6.9	9.2	1.1	1.1
30歳代	117	16.2	12.8	11.1	10.3	6.0	8.5	4.3	1.7	0.0
40歳代	133	12.0	9.0	12.0	12.8	11.3	9.0	6.8	6.8	0.0
50歳代	144	13.9	11.1	9.0	11.1	9.7	8.3	5.6	5.6	2.1
60歳代	255	12.9	9.8	10.2	9.4	8.2	9.4	2.0	2.7	1.2
70歳代以上	310	7.4	12.9	12.6	7.4	11.3	7.1	1.0	1.9	3.2

※全体より ☆: +20%以上、○: +15%以上～20%未満、△: +10%以上～15%未満

★: -20%以上、●: -15%以上～20%未満、▲: -10%以上～15%未満

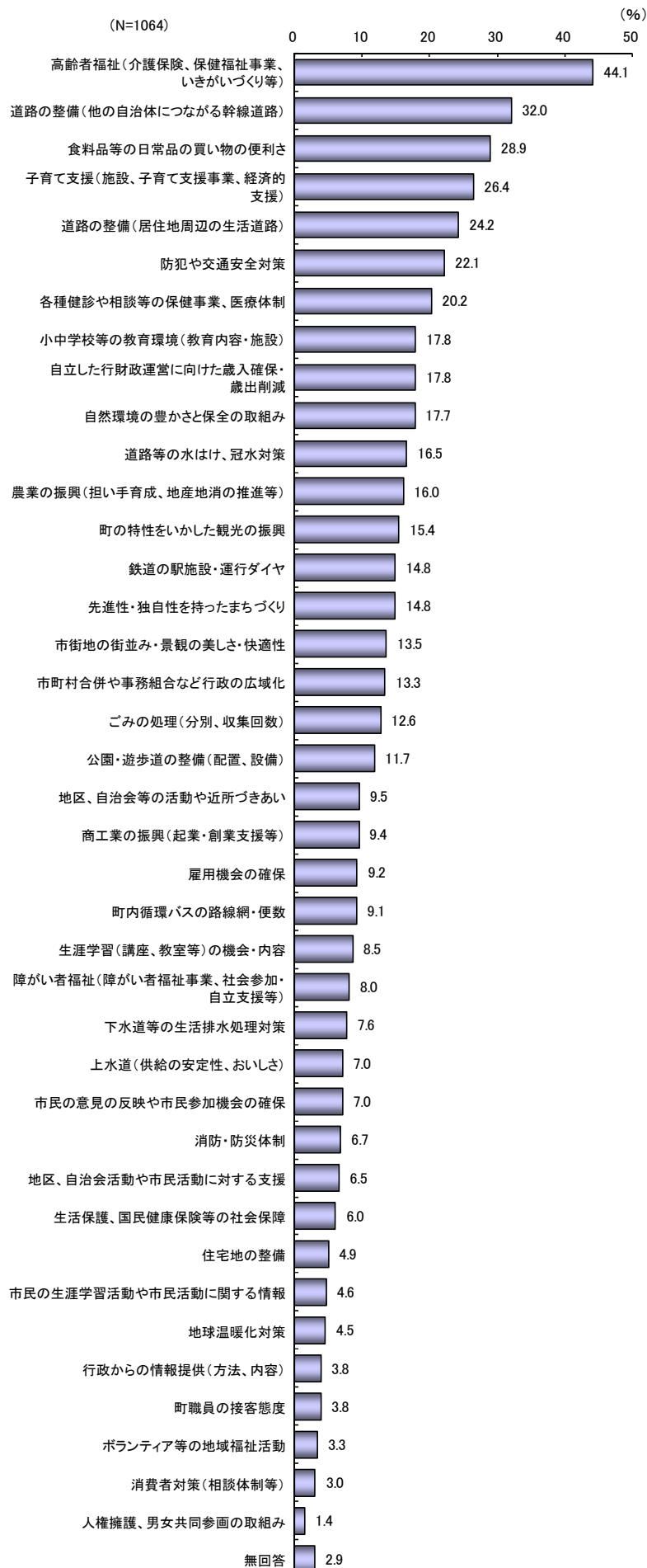
※網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

5. 今後のまちづくりの重点課題について

(1) 重点課題

今後のまちづくりの重点課題としては、「高齢者福祉（介護保険、保健福祉事業、いきがづくり等）」が44.1%と最も多くなっています。以下、「道路の整備（他の自治体につながる幹線道路）」（32.0%）、「食料品等の日常品の買い物の便利さ」（28.9%）、「子育て支援（施設、子育て支援事業、経済的支援）」（26.4%）、「道路の整備（居住地周辺の生活道路）」（24.2%）、「防犯や交通安全対策」（22.1%）、「各種健診や相談等の保健事業、医療体制」（20.2%）が20%以上でつづいています。

問 10 今後のまちづくりを進めていく上で、次に掲げる項目（行政課題）のうち、重点的に取り組む必要があると思うものを選んでください。（5つに〇）



上位にあげられた項目を前回の調査結果と比較しても、大きな変化はみられません。

(%)

	合計	高齢者福祉 (介護保 険、保健福 祉事業、い きがづくり 等)	道路の整備 (他の自治 体につな がる幹線道 路)	食料品等 の日用品 の買い物 の便利 さ	子育て支 援(施設、 子育て支 援事業、 経済的 支援)	道路の整備 (居住地周 辺の生活道 路)	防犯や交通 安全対策	各種健診 や相談等 の保健事 業、医療 体制
今回(平成27年)	1,064	44.1	32.0	28.9	26.4	24.2	22.1	20.2
前回(平成22年)	1,262	48.8	27.7	24.0	24.9	21.4	21.7	25.9

属性別にみると、性別では、あまり大きな差はみられませんが、年齢別では、20歳代以下、30歳代は「子育て支援（施設、子育て支援事業、経済的支援）」、40歳代以上は「高齢者福祉（介護保険、保健福祉事業、いきがづくり等）」が最も多くあげられています。町の住みよさ別や今後の居留意向別でみると、あまり住みよくない・住みにくいとしている人、できれば移転したい・移転するとしている人は、「食料品等の日用品の買い物の便利さ」が最も多くなっています。

(%)

	合計	高齢者福祉(介護保険、保健福祉事業、いきがいつくり等)	道路の整備(他の自治体につながる幹線道路)	食料品等の日用品の買い物の便利さ	子育て支援(施設、子育て支援事業、経済的支援)	道路の整備(居住地周辺の生活道路)	防犯や交通安全対策	各種健診や相談等の保健事業、医療体制	小中学校等の教育環境(教育内容・施設)
【全体】	1,064	44.1	32.0	28.9	26.4	24.2	22.1	20.2	17.8
【性別】									
男	474	40.7	38.0	26.6	23.8	25.5	23.0	20.3	16.9
女	567	46.0	27.2	30.7	29.5	23.5	21.5	20.6	18.7
【年齢】									
20歳代以下	87	★ 20.7	★ 11.5	31.0	○ 41.4	17.2	26.4	▲ 8.0	19.5
30歳代	117	★ 23.1	23.9	27.4	☆ 47.9	25.6	23.9	17.9	26.5
40歳代	133	38.3	33.1	25.6	33.1	22.6	25.6	27.1	○ 33.1
50歳代	144	50.7	30.6	24.3	▲ 16.0	20.1	20.8	29.2	14.6
60歳代	255	47.5	38.8	28.6	24.7	27.5	20.4	17.3	12.5
70歳代以上	310	△ 54.5	35.2	32.6	19.0	26.8	21.0	20.0	13.2
【町の住みやすさ】									
大変住みやすい	134	47.0	24.6	21.6	30.6	20.9	23.9	13.4	20.9
どちらかといえば住みやすい	655	44.9	32.1	27.2	28.1	23.7	22.3	19.4	18.2
あまり住みよくない・住みにくい	187	41.7	36.4	○ 44.4	21.4	28.3	21.4	24.6	15.0
【今後の居住意向】									
永住したい	500	51.0	35.6	27.4	25.6	23.8	22.0	17.6	19.4
当分の間住みたい	406	39.9	27.3	27.8	29.8	25.1	23.2	20.2	17.5
できれば移転したい・移転する	123	▲ 32.5	34.1	△ 42.3	19.5	22.0	21.1	30.1	12.2

	合計	自立した行政運営に向けた歳入確保・歳出削減	自然環境の豊かさとの保全の取り組み	道路等の水はけ、冠水対策	農業の振興(担い手育成、地産地消の推進等)	町の特色をいかした観光の振興	鉄道の駅施設・運行ダイヤ	先進性・独自性を持ったまちづくり	市街地の街並み・景観の美しさ・快適性
【全体】	1,064	17.8	17.7	16.5	16.0	15.4	14.8	14.8	13.5
【性別】									
男	474	19.8	19.0	15.2	15.4	14.3	15.6	16.2	16.0
女	567	16.4	16.9	17.6	16.8	16.8	14.5	13.9	11.5
【年齢】									
20歳代以下	87	10.3	20.7	17.2	18.4	○ 32.2	△ 27.6	18.4	16.1
30歳代	117	16.2	12.8	14.5	14.5	11.1	21.4	12.0	15.4
40歳代	133	13.5	16.5	17.3	22.6	15.8	21.1	12.0	12.8
50歳代	144	17.4	17.4	18.1	20.1	14.6	22.2	16.7	9.0
60歳代	255	20.4	20.8	14.5	11.8	16.9	7.5	15.7	13.3
70歳代以上	310	20.6	16.8	18.1	14.8	11.9	9.4	14.5	14.5
【町の住みやすさ】									
大変住みやすい	134	21.6	△ 28.4	18.7	23.1	20.9	12.7	17.2	14.9
どちらかといえば住みやすい	655	17.6	18.0	16.3	17.1	15.6	13.4	14.0	12.5
あまり住みよくない・住みにくい	187	17.6	11.8	12.8	8.0	9.6	20.9	16.0	15.5
【今後の居住意向】									
永住したい	500	19.6	19.6	17.4	17.6	15.4	10.2	14.4	14.4
当分の間住みたい	406	16.7	18.2	17.0	16.0	15.3	15.3	15.3	12.1
できれば移転したい・移転する	123	14.6	11.4	13.0	6.5	14.6	○ 30.9	13.0	17.1

※全体より ☆: +20%以上、○: +15%以上~20%未満、△: +10%以上~15%未満

★: -20%以上、●: -15%以上~20%未満、▲: -10%以上~15%未満

※網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

(%)

	合計	市町村合併や事務組合など行政の広域化	ごみの処理(分別、収集回数)	公園・遊歩道の整備(配置、設備)	地区、自治会等の活動や近所づきあい	商工業の振興(起業・創業支援等)	雇用機会の確保	町内循環バスの路線網・便数	生涯学習(講座、教室等)の機会・内容
【全体】	1,064	13.3	12.6	11.7	9.5	9.4	9.2	9.1	8.5
【性別】									
男	474	15.8	13.5	11.4	9.7	12.7	11.0	6.3	7.0
女	567	11.3	12.0	12.2	9.5	6.7	7.9	11.6	9.5
【年齢】									
20歳代以下	87	9.2	17.2	10.3	5.7	9.2	17.2	5.7	4.6
30歳代	117	6.8	12.0	△ 23.9	5.1	8.5	12.0	8.5	6.0
40歳代	133	13.5	15.0	12.8	3.8	9.0	10.5	3.0	8.3
50歳代	144	12.5	11.8	9.0	4.9	13.2	14.6	5.6	13.2
60歳代	255	14.5	11.8	11.8	9.8	8.6	6.7	9.8	7.1
70歳代以上	310	16.1	11.6	8.7	17.1	8.7	5.5	13.9	9.7
【町の住みやすさ】									
大変住みやすい	134	9.0	14.9	11.2	14.9	9.7	11.9	6.7	5.2
どちらかといえば住みやすい	655	13.1	11.6	11.8	8.1	9.5	9.3	9.6	8.9
あまり住みよくない・住みにくい	187	18.2	14.4	11.8	8.6	10.2	5.9	9.1	8.6
【今後の居住意向】									
永住したい	500	13.2	11.4	11.2	11.4	9.6	7.2	9.4	7.8
当分の間住みたい	406	11.3	13.3	12.6	7.9	8.1	11.1	8.6	9.1
できれば移転したい・移転する	123	21.1	16.3	12.2	8.1	12.2	9.8	8.9	8.1

	合計	障がい者福祉(障がい者福祉事業、社会参加・自立支援等)	下水道等の生活排水処理対策	上水道(供給の安定性、おいしさ)	市民の意見の反映や市民参加機会の確保	消防・防災体制	地区、自治会活動や市民活動に対する支援	生活保護、国民健康保険等の社会保障	住宅地の整備
【全体】	1,064	8.0	7.6	7.0	7.0	6.7	6.5	6.0	4.9
【性別】									
男	474	8.4	7.8	5.9	7.2	8.4	8.4	6.3	7.4
女	567	7.4	7.4	7.9	6.9	4.9	4.8	5.3	2.8
【年齢】									
20歳代以下	87	8.0	3.4	6.9	6.9	3.4	4.6	5.7	5.7
30歳代	117	8.5	9.4	8.5	6.0	6.0	1.7	6.0	6.8
40歳代	133	9.8	9.0	5.3	6.8	3.0	1.5	3.0	4.5
50歳代	144	6.3	7.6	4.9	6.3	8.3	6.9	10.4	2.1
60歳代	255	9.0	8.6	6.3	7.1	5.5	8.2	5.1	5.1
70歳代以上	310	6.8	6.1	9.0	7.7	10.0	9.0	5.5	5.2
【町の住みやすさ】									
大変住みやすい	134	11.2	3.0	9.7	9.0	7.5	10.4	8.2	6.0
どちらかといえば住みやすい	655	7.5	7.6	6.9	7.5	6.3	6.1	4.6	3.8
あまり住みよくない・住みにくい	187	5.3	9.6	5.9	4.8	7.5	3.2	9.1	6.4
【今後の居住意向】									
永住したい	500	7.4	7.4	7.4	8.0	6.8	8.0	4.2	5.0
当分の間住みたい	406	7.9	6.9	6.9	5.2	5.7	5.4	6.2	5.7
できれば移転したい・移転する	123	6.5	12.2	5.7	6.5	7.3	3.3	11.4	2.4

※全体より ☆: +20%以上、○: +15%以上～20%未満、△: +10%以上～15%未満

★: -20%以上、●: -15%以上～20%未満、▲: -10%以上～15%未満

※網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

(%)

	合計	市民の生涯学習活動や市民活動に関する情報	地球温暖化対策	行政からの情報提供(方法、内容)	町職員の接客態度	ボランティア等の地域福祉活動	消費者対策(相談体制等)	人権擁護、男女共同参画の取組み	無回答
【全体】	1,064	4.6	4.5	3.8	3.8	3.3	3.0	1.4	2.9
【性別】									
男	474	4.9	4.4	3.8	5.5	3.6	3.2	2.1	2.5
女	567	4.6	4.6	3.9	2.3	3.2	2.6	0.9	2.6
【年齢】									
20歳代以下	87	3.4	3.4	2.3	9.2	4.6	2.3	1.1	1.1
30歳代	117	3.4	3.4	6.0	4.3	2.6	0.9	1.7	0.0
40歳代	133	3.8	3.8	3.8	2.3	3.0	3.0	0.8	0.8
50歳代	144	4.2	4.9	5.6	6.3	2.1	4.9	2.1	1.4
60歳代	255	5.9	4.3	2.0	1.6	4.3	3.9	1.2	3.1
70歳代以上	310	5.2	5.5	4.2	3.2	3.2	2.3	1.6	5.2
【町の住みやすさ】									
大変住みやすい	134	6.0	7.5	5.2	2.2	6.0	3.7	3.0	4.5
どちらかといえば住みやすい	655	4.1	4.6	4.1	3.1	3.1	2.3	1.2	2.1
あまり住みよくない・住みにくい	187	3.7	2.7	2.7	5.9	1.1	5.3	0.0	2.7
【今後の居住意向】									
永住したい	500	4.6	4.2	3.8	3.0	3.4	2.0	1.6	2.8
当分の間住みたい	406	4.4	5.7	4.4	3.4	3.4	3.2	1.2	2.5
できれば移転したい・移転する	123	4.1	0.8	1.6	7.3	1.6	4.1	0.0	1.6

※全体より ☆: +20%以上、○: +15%以上～20%未満、△: +10%以上～15%未満

★: -20%以上、●: -15%以上～20%未満、▲: -10%以上～15%未満

※網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

(2) まちづくりに対する“満足度”と重点課題の関係

まちづくりに対する“満足度”と重点課題から、以下の基準により 38 施策の整理を行いました。

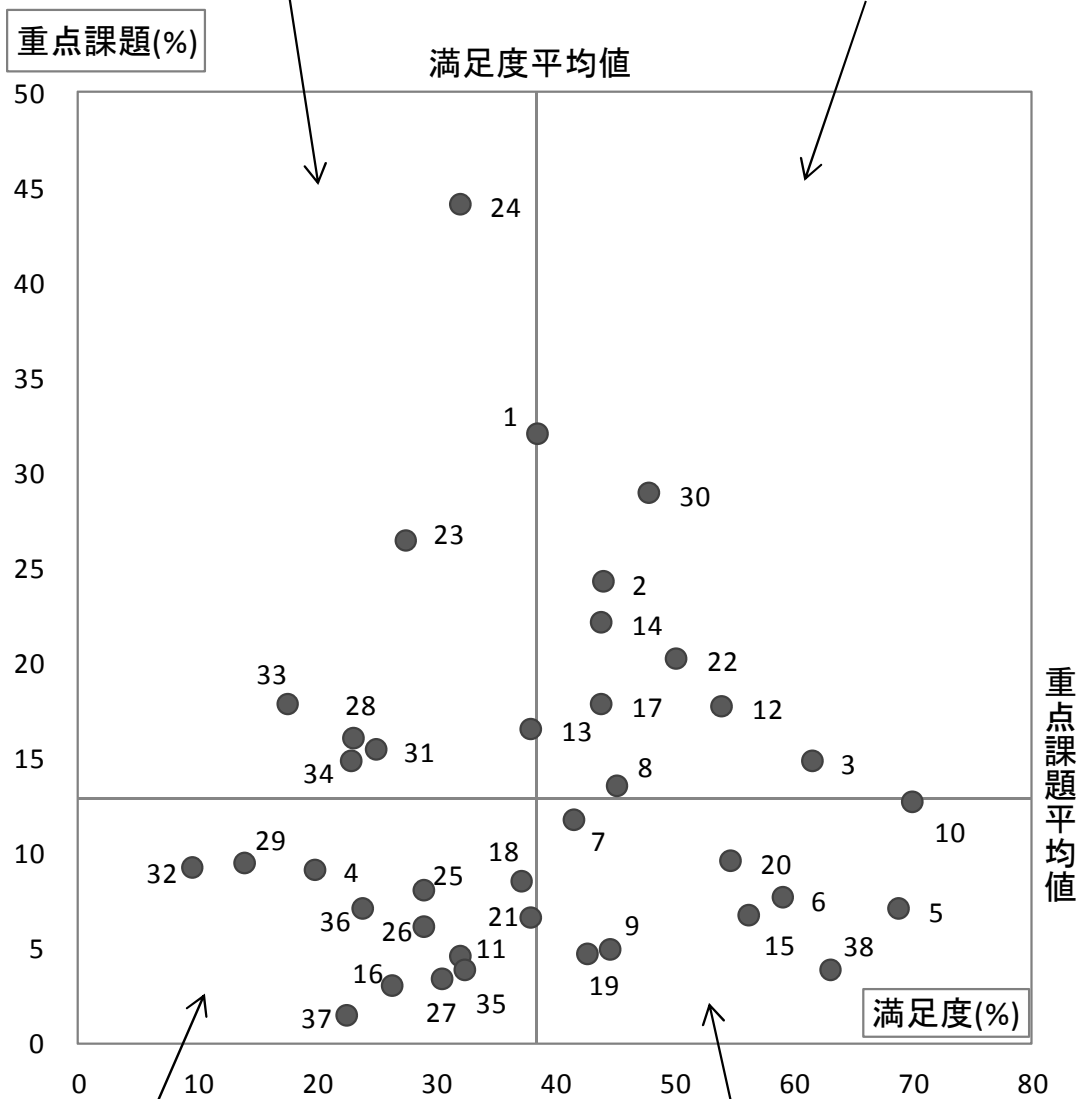
- Aゾーンの施策…重点課題平均値 12.9%を上回り、満足度平均値 38.5%を下回る施策
(重点課題が高いにもかかわらず、満足度が低いことから、改善の必要がある施策)
- Bゾーンの施策…重点課題平均値 12.9%、満足度平均値 38.5%をともに上回る施策
(重点課題、満足度ともに高く、今後も継続して維持していけばよい施策)
- Cゾーンの施策…重点課題平均値 12.9%、満足度平均値 38.5%をともに下回る施策
(重点課題、満足度ともに低く、検討や吟味が必要な施策)
- Dゾーンの施策…重点課題平均値 12.9%を下回るが、満足度平均値 38.5%を上回る施策
(重点課題は低いが、満足度は高く、現状の満足率を維持していけばよい施策)

まちづくりに対する“満足度”と重点課題の平均値をもとに、上記の基準により施策を4つのゾーンにプロットしたのが、次ページの図です。なお、ゾーンごとの施策数は、以下のとおりです。

ゾーン	施策数
Aゾーン (重点課題が高いにもかかわらず、満足度が低いことから、改善の必要がある施策)	8 施策
Bゾーンの施策 (重点課題、満足度ともに高く、今後も継続して維持していけばよい施策)	8 施策
Cゾーンの施策 (重点課題、満足度ともに低く、検討や吟味が必要な施策)	13 施策
Dゾーンの施策 (重点課題は低いが、高い満足度を得ており、今後も継続して維持していけばよい施策)	9 施策

Aゾーン(重点課題が高いにもかかわらず、満足度が低いことから、改善の必要がある施策)

Bゾーン(満足度は高いが、重点課題としても高いことから、より一層の満足度の向上をめざす必要がある施策)



Cゾーン(重点課題、満足度ともに低く、検討や吟味が必要な施策)

Dゾーン(重点課題は低いが高満足度を得ており、今後も継続して維持していけばよい施策)

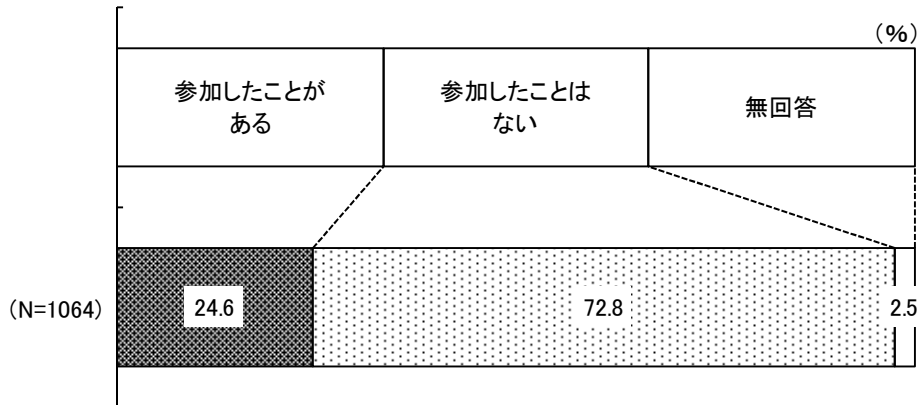
		(%)	満足度	重点課題
A ゾ ン	1	道路の整備(他の自治体につながる幹線道路)	38.6	32.0
	13	道路等の水はけ、冠水対策	38.1	16.5
	23	子育て支援(施設、子育て支援事業、経済的支援)	27.6	26.4
	24	高齢者福祉(介護保険、保健福祉事業、いきがづくり等)	32.1	44.1
	28	農業の振興(担い手育成、地産地消の推進等)	23.1	16.0
	31	町の特性をいかした観光の振興	25.1	15.4
	33	自立した行財政運営に向けた歳入確保・歳出削減	17.6	17.8
	34	先進性・独自性を持ったまちづくり	23.0	14.8
B ゾ ン	2	道路の整備(居住地周辺の生活道路)	44.1	24.2
	3	鉄道の駅施設・運行ダイヤ	61.6	14.8
	8	市街地の街並み・景観の美しさ・快適性	45.3	13.5
	12	自然環境の豊かさと保全の取り組み	54.1	17.7
	14	防犯や交通安全対策	44.0	22.1
	17	小中学校等の教育環境(教育内容・施設)	44.0	17.8
	22	各種健診や相談等の保健事業、医療体制	50.3	20.2
	30	食料品等の日用品の買い物の利便さ	48.0	28.9
C ゾ ン	4	町内循環バスの路線網・便数	19.9	9.1
	11	地球温暖化対策	32.1	4.5
	16	消費者対策(相談体制等)	26.4	3.0
	18	生涯学習(講座、教室等)の機会・内容	37.3	8.5
	21	地区、自治会活動や市民活動に対する支援	38.0	6.5
	25	障がい者福祉(障がい者福祉事業、社会参加・自立支援等)	29.0	8.0
	26	生活保護、国民健康保険等の社会保障	29.1	6.0
	27	ボランティア等の地域福祉活動	30.6	3.3
	29	商工業の振興(起業・創業支援等)	14.1	9.4
	32	雇用機会の確保	9.6	9.2
	35	行政からの情報提供(方法、内容)	32.6	3.8
	36	市民の意見の反映や市民参加機会の確保	23.9	7.0
37	人権擁護、男女共同参画の取り組み	22.6	1.4	
D ゾ ン	5	上水道(供給の安定性、おいしさ)	69.0	7.0
	6	下水道等の生活排水処理対策	59.1	7.6
	7	公園・遊歩道の整備(配置、設備)	41.6	11.7
	9	住宅地の整備	44.7	4.9
	10	ごみの処理(分別、収集回数)	70.1	12.6
	15	消防・防災体制	56.3	6.7
	19	市民の生涯学習活動や市民活動に関する情報	42.8	4.6
	20	地区、自治会等の活動や近所づきあい	54.8	9.5
	38	町職員の接客態度	63.2	3.8
		平均値	38.5	12.9

6. 市民のまちづくりへの参加と町からの情報提供について

(1) 「市民のまちづくり活動」への参加経験

「市民のまちづくり活動」に「参加したことがある」とする人は 24.6%で、4 人に 1 人の割合となっています。

問 11 あなたは、これまで「市民のまちづくり活動」に参加したことがありますか。(1つに〇)



前回の調査結果と比較しても、大きな変化はみられません。

	合計	参加したことがある	参加したことはない	無回答
今回(平成27年)	1,064	24.6	72.8	2.5
前回(平成22年)	1,262	22.8	74.4	2.8

性別で見ると、女性に比べ男性の方が「参加したことがある」とする人がやや多くなっています。年齢別にみると、40歳代以上は「参加したことがある」とする人が20%を超え、年齢が高くなるほど「参加したことがある」とする人が増えています。

(%)

	合計	参加したことがある	参加したことはない	無回答
【全体】	1,064	24.6	72.8	2.5
【性別】				
男	474	27.8	70.3	1.9
女	567	21.9	75.8	2.3
【年齢】				
20歳代以下	87	▲ 11.5	○ 88.5	0.0
30歳代	117	● 6.8	☆ 93.2	0.0
40歳代	133	21.1	78.9	0.0
50歳代	144	22.9	77.1	0.0
60歳代	255	26.7	70.6	2.7
70歳代以上	310	△ 35.2	▲ 59.4	5.5

※全体より ☆: +20%以上、○: +15%以上～20%未満、△: +10%以上～15%未満

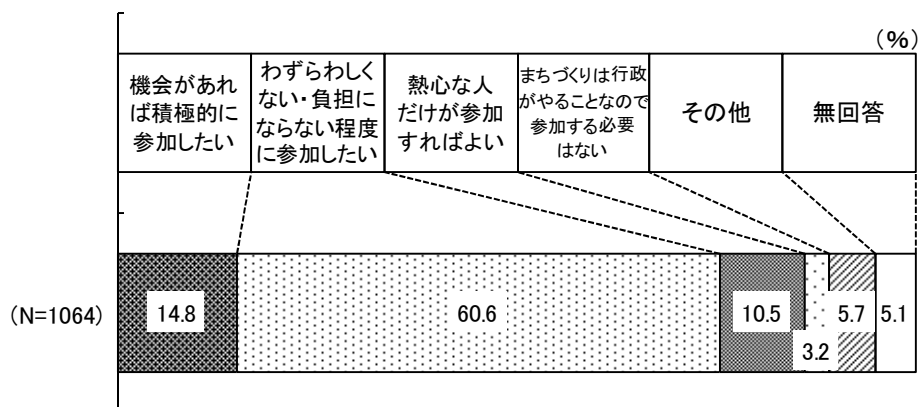
★: -20%以上、●: -15%以上～20%未満、▲: -10%以上～15%未満

※網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

(2) 「市民のまちづくり活動」への参加意向

「市民のまちづくり活動」への参加意向については、「わずらわしくない・負担にならない程度に参加したい」とする人が60.6%と多数を占めています。

問 12 あなたは、今後の「市民のまちづくり活動」への参加についてどのようにお考えですか。(1つに○)



前回の調査結果と比較しても、大きな変化はみられません。

	合計	機会があれば積極的に参加したい	わずらわしくない・負担にならない程度に参加したい	熱心な人だけが参加すればよい	まちづくりは行政がやることなので参加する必要はない	その他	無回答
今回(平成27年)	1,064	14.8	60.6	10.5	3.2	5.7	5.1
前回(平成22年)	1,262	16.5	60.3	10.7	2.7	5.5	4.3

性別、年齢別でも、「わずらわしくない・負担にならない程度に参加したい」とする人が多数を占めています。

(%)

	合計	機会があれば積極的に参加したい	わずらわしくない・負担にならない程度に参加したい	熱心な人だけが参加すればよい	まちづくりは行政がやることなので参加する必要はない	その他	無回答
【全体】	1,064	14.8	60.6	10.5	3.2	5.7	5.1
【性別】							
男	474	16.5	61.0	10.8	3.8	4.6	3.4
女	567	13.8	61.0	10.2	2.6	6.5	5.8
【年齢】							
20歳代以下	87	12.6	66.7	11.5	4.6	3.4	1.1
30歳代	117	12.0	58.1	△ 20.5	5.1	3.4	0.9
40歳代	133	12.0	61.7	16.5	1.5	6.8	1.5
50歳代	144	9.0	69.4	11.8	3.5	2.8	3.5
60歳代	255	13.7	67.8	5.9	2.4	6.3	3.9
70歳代以上	310	21.6	▲ 50.3	7.1	3.5	7.7	9.7

※全体より ☆: +20%以上、○: +15%以上～20%未満、△: +10%以上～15%未満

★: -20%以上、●: -15%以上～20%未満、▲: -10%以上～15%未満

※網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

「市民のまちづくり活動」への参加経験別にみると、参加したことがあるとしている人も「わずらわしくない・負担にならない程度に参加したい」とする人が多数を占めていますが、「機会があれば積極的に参加したい」とする人も30.2%占めています。

(%)

	合計	機会があれば積極的に参加したい	わずらわしくない・負担にならない程度に参加したい	熱心な人だけが参加すればよい	まちづくりは行政がやることなので参加する必要はない	その他	無回答
【全体】	1,064	14.8	60.6	10.5	3.2	5.7	5.1
【市民のまちづくり活動への参加】							
参加したことがある	262	○ 30.2	63.4	0.8	0.8	3.1	1.9
参加したことはない	775	10.1	61.2	14.2	4.0	6.8	3.7

※全体より ☆: +20%以上、○: +15%以上～20%未満、△: +10%以上～15%未満

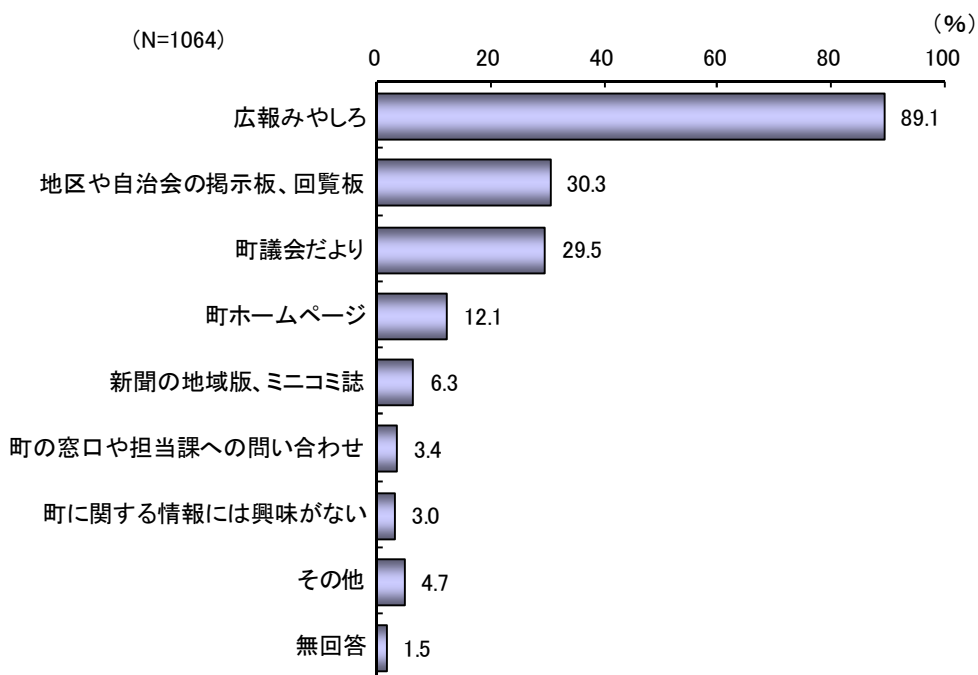
★: -20%以上、●: -15%以上～20%未満、▲: -10%以上～15%未満

※網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

(3) 情報入手先

宮代町に関する情報の入手先としては、「広報みやしろ」が 89.1%と大多数を占めています。ついで、「地区や自治会の掲示板、回覧板」(30.3%)、「町議会だより」(29.5%) が 3 割でつづいています。

問 13 あなたは、宮代町に関する情報を主にどこから得ていますか。(2つに〇)



前回の調査結果と比較しても、大きな変化はみられません。

	合計	広報みやしろ	町議会だより	町ホームページ	町の窓口や担当課への問い合わせ	地区や自治会の掲示板、回覧板	新聞の地域版、ミニコミ誌	町に関する情報には興味がない	その他	無回答
今回(平成27年)	1,064	89.1	29.5	12.1	3.4	30.3	6.3	3.0	4.7	1.5
前回(平成22年)	1,262	89.9	24.2	10.8	2.9	30.2	10	3.5	3.6	2.5

性別、年齢別にみても「広報みやしろ」をあげる人が多数を占めています。なお、「町のホームページ」については、40歳代以下では20%台となっています。

(%)

	合計	広報みやしろ	地区や自治会の掲示板、回覧板	町議会だより	町ホームページ	新聞の地域版、ミニコミ誌	町の窓口や担当課への問い合わせ	町に関する情報には興味がない	その他	無回答
【全体】	1,064	89.1	30.3	29.5	12.1	6.3	3.4	3.0	4.7	1.5
【性別】										
男	474	86.5	24.9	31.6	18.6	6.5	3.6	4.6	4.9	1.1
女	567	91.7	34.7	27.3	7.1	6.3	3.4	1.8	4.8	1.2
【年齢】										
20歳代以下	87	▲ 74.7	25.3	▲ 16.1	△ 26.4	8.0	2.3	11.5	8.0	0.0
30歳代	117	80.3	29.1	19.7	△ 26.5	5.1	4.3	4.3	8.5	0.0
40歳代	133	93.2	30.8	24.1	20.3	3.8	4.5	2.3	5.3	0.0
50歳代	144	88.9	37.5	22.9	13.2	10.4	2.1	4.2	4.2	0.0
60歳代	255	93.3	31.4	36.9	5.1	5.1	3.5	1.6	3.5	2.0
70歳代以上	310	91.9	27.7	36.1	4.8	6.8	3.5	1.3	3.2	2.6

※全体より ☆: +20%以上、○: +15%以上~20%未満、△: +10%以上~15%未満

★: -20%以上、●: -15%以上~20%未満、▲: -10%以上~15%未満

※網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

資料：調查票



宮代町住民意識調査ご協力をお願い

日ごろから町政運営にご協力いただきありがとうございます。

町では、平成 23 年度に、今後 10 年間のまちづくりの基本的な理念や主要な施策等を定めた「第 4 次宮代町総合計画」を策定しました。そして、計画を実現するために最初の 5 年間で取り組むべき具体的な事業を「前期実行計画」としてまとめ、各課で様々な事業を実施しているところです。

また、町では現在、前期実行計画の事業期間が平成 27 年度末で終了となることから、計画期間の後半にあたる平成 28 年度から平成 32 年度にかけて取り組む「後期実行計画」の策定に向けて着手したところです。

そこで、今回、「後期実行計画」を策定するにあたり、町民の皆様から町の施策に対する評価、まちづくりへのご意見をいただくため、町内にお住いの 18 歳以上の方 2,000 人を対象として住民意識調査を実施いたします。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

平成 27 年 1 月

宮代町長 榎本 和男

■ご記入にあたってのお願い

1. 調査は、宮代町内にお住まいの 18 歳以上の方 2,000 人をコンピュータで無作為に抽出して回答をお願いするものです。
2. 回答は、設問ごとに「1つに○」「2つに○」など、それぞれ指定していますので、お間違えのないようにお願いします。
3. 回答の中で「その他」をお答えいただいたときは、その内容を具体的にご記入ください。
4. 調査は無記名で行い、お答えいただいた内容につきましては統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することはありません。自由記述につきましても個人が特定されないように配慮し、内容をそのまま公表することはありません。
5. ご記入いただいた調査票は、**同封の返信用封筒に入れて、2月12日(木)までに切手を貼らずに郵便ポストへご投函ください。**

この調査票についてのお問い合わせ先

宮代町総務政策課企画財政室長グループ

電話 : 0480-34-1111 (内線 : 215・216)

Email : kaikaku@town.miyashiro.saitama.jp

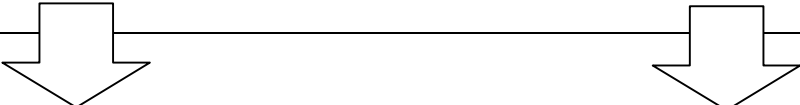
1. 町の住みごころについて

問1 あなたは、宮代町の住みやすさを、全体としてどう感じていますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|----------|
| 1. 大変住みやすい | 4. 住みにくい |
| 2. どちらかといえば住みやすい | 5. わからない |
| 3. あまり住みよくない | |

問2 あなたは、これからも宮代町に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

1. 永住したい 2. 当分の間住みたい	3. できれば移転したい 4. 移転する
-------------------------	-------------------------



問2-1

「永住したい」「当分の間住みたい」とお答えになった方におたずねします。その主な理由は何ですか。(2つに○)

1. 自然環境が良い
2. 永年住み慣れている
3. 人間関係がよい
4. 教育環境がよい
5. 仕事の関係から
6. 自分の家(土地)がある
7. 家賃・地代が安い
8. 交通の便がよい
9. 公共施設が整っている
10. 行政サービスが充実している
11. その他
()

問2-2

「できれば移転したい」「移転する」とお答えになった方におたずねします。その主な理由は何ですか。(2つに○)

1. 公園・緑地・広場が少ない
2. 日常生活が不便
3. 人間関係がよくない
4. 教育環境がよくない
5. 仕事の関係から
6. 近隣公害(騒音・振動・日照)のため
7. 現在の住宅(広さ・家賃など)に不満
8. 交通が不便
9. 公共施設が整備されていない
10. 行政サービスが充実していない
11. その他
()

2. まちづくりに対する“満足度”について

問3 あなたのまちづくりに対する“満足度”についておたずねします。次の項目についてお答え下さい。(○は1つずつ)

項目	あなたの考え				わからない
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	
【記入例】	4	③	2	1	0

(1) 都市基盤

①道路の整備（他の自治体につながる幹線道路）	4	3	2	1	0
②道路の整備（居住地周辺の生活道路）	4	3	2	1	0
③鉄道の駅施設・運行ダイヤ	4	3	2	1	0
④町内循環バスの路線網・便数	4	3	2	1	0
⑤上水道（供給の安定性、おいしさ）	4	3	2	1	0
⑥下水道等の生活排水処理対策	4	3	2	1	0
⑦公園・遊歩道の整備（配置、設備）	4	3	2	1	0
⑧市街地の街並み・景観の美しさ・快適性	4	3	2	1	0
⑨住宅地の整備	4	3	2	1	0

(2) 生活・自然環境

①ごみの処理（分別、収集回数）	4	3	2	1	0
②地球温暖化対策	4	3	2	1	0
③自然環境の豊かさと保全の取組み	4	3	2	1	0
④道路等の水はけ、冠水対策	4	3	2	1	0
⑤防犯や交通安全対策	4	3	2	1	0
⑥消防・防災体制	4	3	2	1	0
⑦消費者対策（相談体制等）	4	3	2	1	0

(3) 教育・生涯学習・コミュニティ

①小中学校等の教育環境（教育内容・施設）	4	3	2	1	0
②生涯学習（講座、教室等）の機会・内容	4	3	2	1	0
③市民の生涯学習活動や市民活動に関する情報	4	3	2	1	0
④地区、自治会等の活動や近所づきあい	4	3	2	1	0
⑤地区、自治会活動や市民活動に対する支援	4	3	2	1	0

項目	あなたの考え				わからない
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	

(4) 保健・医療・福祉

①各種健診や相談等の保健事業、医療体制	4	3	2	1	0
②子育て支援（施設、子育て支援事業、経済的支援）	4	3	2	1	0
③高齢者福祉（介護保険、保健福祉事業、いきがいつくり等）	4	3	2	1	0
④障がい者福祉（障がい者福祉事業、社会参加・自立支援等）	4	3	2	1	0
⑤生活保護、国民健康保険等の社会保障	4	3	2	1	0
⑥ボランティア等の地域福祉活動	4	3	2	1	0

(5) 産業

①農業の振興（担い手育成、地産地消の推進等）	4	3	2	1	0
②商工業の振興（起業・創業支援等）	4	3	2	1	0
③食料品等の日用品の買い物の便利さ	4	3	2	1	0
④町の特性をいかした観光の振興	4	3	2	1	0
⑤雇用機会の確保	4	3	2	1	0

(6) 行財政運営

①自立した行財政運営に向けた歳入確保・歳出削減	4	3	2	1	0
②先進性・独自性を持ったまちづくり	4	3	2	1	0
③行政からの情報提供（方法、内容）	4	3	2	1	0
④市民の意見の反映や市民参加機会の確保	4	3	2	1	0
⑤人権擁護、男女共同参画の取組み	4	3	2	1	0
⑥町職員の接客態度	4	3	2	1	0

問4 あなたの公共施設の“利用頻度”と“満足度”についておたずねします。次の施設について、お答え下さい。(〇は1つずつ)

	利用頻度				満足度				
	よく利用する	ときどき利用する	過去に何度か利用した	利用したことがない	満足	やや満足	やや不満	不満	利用したことがないので分からない
【記入例】	④	3	2	1	4	③	2	1	0
(1) スポーツ関連施設									
①総合運動公園「ぐるる宮代」	4	3	2	1	4	3	2	1	0
②はらっパーク宮代	4	3	2	1	4	3	2	1	0
(2) 生涯学習関連施設									
①図書館	4	3	2	1	4	3	2	1	0
②郷土資料館	4	3	2	1	4	3	2	1	0
③新しい村	4	3	2	1	4	3	2	1	0
④進修館	4	3	2	1	4	3	2	1	0
⑤公民館	4	3	2	1	4	3	2	1	0
(3) 福祉関連施設									
①福祉医療センター「六花」	4	3	2	1	4	3	2	1	0
②保健センター	4	3	2	1	4	3	2	1	0
③陽だまりサロン	4	3	2	1	4	3	2	1	0

3. 今後のまちづくりの基本的方向性について

問5 今後、人口減少・高齢化が進行していく中で、大規模な住宅地や商業施設、工業団地等の都市開発のあり方についてどのように考えますか。(1つに○)

1. 開発を積極的に行うことで、拡大成長型のまちづくりを進める
2. 開発は最小限にとどめ、既存施設の有効活用等による持続可能なまちづくりを進める
3. 新たな開発は行わない
4. その他 ()



ミニコラム 町の人口推計

日本の人口は、平成 52 年までの今後 25 年間で約 1,932 万人減少し、宮代町の人口も約 8,600 人減少、町民の 51%が 65 歳以上の高齢者の町になると推計されています。

※出典：国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』（平成 25 年 3 月推計）

※町では、こうした著しい人口減少、高齢化を防ぐため、道仏地区土地区画整理事業をはじめ各種定住促進策を進め、平成 25 年 4 月以降町の人口は微増傾向（平成 26 年 10 月時点）にあります。

問6 宮代町を象徴する田んぼや畑、屋敷林、雑木林等の田園景観については、今後、農家の後継者不足等により、さらに減少していくことが見込まれます。こうした状況に、あなたはどのように対応していくべきと思いますか。(1つに○)

1. 行政と農家により、農地保全のための取組みを推進する
(例：農地の集約化、地産地消の推進、新規就農者の育成等)
2. 行政と農家だけでなく、農家以外の人でも農地保全の取組みに参加する
(例：地元産の農産物等の購入・市民農園の利用・援農ボランティアへの参加等)
3. 農家自身の努力に任せておけばよい
4. その他 ()



ミニコラム 農地・農家の減少

宮代町の経営耕地（農地）の面積は、昭和 50 年の 800ha から平成 22 年には 460ha まで減少しています。また、農家総数についても、昭和 50 年に 900 件あった農家が、平成 22 年には 665 件にまで減少しています。

※農林業センサス



問7 今後、町の魅力の向上やにぎわいの創出を図っていく上で、特に重視あるいは活用すべきと思う資源（宮代町の特長・強み）は何だと思えますか。（3つに○）

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 日本工業大学 | 11. 新鮮で安全な農産物 |
| 2. 東武動物公園 | 12. 巨峰 |
| 3. 進修館 | 13. みやしろ餃子 |
| 4. 笠原小学校 | 14. 郷土資料館 |
| 5. 新しい村 | 15. 史跡・文化財 |
| 6. 遊歩道（健康マッパ、農の道） | 16. 町民まつり |
| 7. 山崎山の雑木林 | 17. みやしろ（桜）イルミネーション |
| 8. 田園景観 | 18. 市民によるさまざまな活動 |
| 9. 古利根川などの河川・水路 | 19. その他 |
| 10. 桜並木（姫宮落浴いなど） | （ |

問8 今後の行政サービスのあり方についてどう思えますか。（1つに○）

- | |
|--|
| 1. 行政は住民の要望に対して、できる限りそれを実現するべきである |
| 2. 行政だけではなく、住民や市民団体も一定の役割を果たすべきである |
| 3. 行政は専門知識や経験を持つ民間企業等に一部の業務を委ねていくべきである |
| 4. 命や安全にかかわることだけ行政が行うべきである |
| 5. その他（ |

問9 あなたは、宮代町が今後どのようなまちづくりを目指すべきだと思えますか。

（3つに○）

- | |
|---|
| 1. 水と親しめる水辺づくりでうるおいのあるまち |
| 2. 進修館をシンボルとしてコミュニティの充実したまち |
| 3. 大学を中心とした学園都市 |
| 4. 巨峰をいかした特産のあるまち |
| 5. 田園風景の残る環境に恵まれたまち |
| 6. 市民農園など、土・自然と親しめるまち |
| 7. スポーツに親しみ健康づくりに力を入れるまち |
| 8. 東武動物公園を中心としたレジャーのまち |
| 9. ユニークな建物の建つ楽しいまち |
| 10. いつでもどこでも誰でも学べる生涯学習のまち |
| 11. マンション、分譲住宅など住宅地が広がるまち |
| 12. 大型店を中心としたにぎわいのあるまち |
| 13. 安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち |
| 14. 安心して子どもを育てられる子育て環境の整備されたまち |
| 15. 近所の助け合いやボランティア活動、地域活動などが活発な市民自治の進んだまち |
| 16. その他（ |

4. 今後のまちづくりの重点課題について

問 10 今後のまちづくりを進めていく上で、次に掲げる項目（行政課題）のうち、重点的に取り組む必要があると思うものを選んでください。（5つに○）

【都市基盤】	1. 道路の整備（他の自治体につながる幹線道路）	【保健・医療・福祉】	22. 各種健診や相談等の保健事業、医療体制
	2. 道路の整備（居住地周辺の生活道路）		23. 子育て支援 （施設、子育て支援事業、経済的支援）
	3. 鉄道の駅施設・運行ダイヤ		24. 高齢者福祉 （介護保険、保健福祉事業、いきがいづくり等）
	4. 町内循環バスの路線網・便数		25. 障がい者福祉 （障がい者福祉事業、社会参加・自立支援等）
	5. 上水道（供給の安定性、おいしさ）		26. 生活保護、国民健康保険等の社会保障
	6. 下水道等の生活排水処理対策		27. ボランティア等の地域福祉活動
	7. 公園・遊歩道の整備（配置、設備）		
	8. 市街地の街並み・景観の美しさ・快適性		
	9. 住宅地の整備		
【生活・自然環境】	10. ごみの処理（分別、収集回数）	【産業】	28. 農業の振興 （担い手育成、地産地消の推進等）
	11. 地球温暖化対策		29. 商工業の振興（起業・創業支援等）
	12. 自然環境の豊かさと保全の取組み		30. 食料品等の日常品の買い物の便利さ
	13. 道路等の水はけ、冠水対策		31. 町の特性をいかした観光の振興
	14. 防犯や交通安全対策		32. 雇用機会の確保
	15. 消防・防災体制		
	16. 消費者対策（相談体制等）		
【教育・文化・コミュニティ】	17. 小中学校等の教育環境（教育内容・施設）	【行政運営】	33. 自立した行財政運営に向けた歳入確保・歳出削減
	18. 生涯学習（講座、教室等）の機会・内容		34. 先進性・独自性を持ったまちづくり
	19. 市民の生涯学習活動や市民活動に関する情報		35. 行政からの情報提供（方法、内容）
	20. 地区、自治会等の活動や近所つきあい		36. 市民の意見の反映や市民参加機会の確保
	21. 地区、自治会活動や市民活動に対する支援		37. 人権擁護、男女共同参画の取組み
			38. 町職員の接客態度
			39. 市町村合併や事務組合など行政の広域化

5. 市民のまちづくりへの参加と町からの情報提供について

地区や自治会による地域活動、福祉や環境保全等の市民活動、行政が呼びかける会議や事業等への参加（以下、これらを総称して「市民のまちづくり活動」と言います）について、あなたの考えをお聞かせください。

問 11 あなたは、これまで「市民のまちづくり活動」に参加したことがありますか。

(1つに○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 参加したことがある | 2. 参加したことはない |
|--------------|--------------|

問 12 あなたは、今後の「市民のまちづくり活動」への参加についてどのようにお考えですか。(1つに○)

- | |
|------------------------------|
| 1. 機会があれば積極的に参加したい |
| 2. わずらわしくない・負担にならない程度に参加したい |
| 3. 熱心な人だけが参加すればよい |
| 4. まちづくりは行政がやることなので参加する必要はない |
| 5. その他 () |

問 13 あなたは、宮代町に関する情報を主にどこから得ていますか。(2つに○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 広報みやしろ | 5. 地区や自治会の掲示板、回覧板 |
| 2. 町議会だより | 6. 新聞の地域版、ミニコミ誌 |
| 3. 町ホームページ | 7. 町に関する情報には興味がない |
| 4. 町の窓口や担当課への問い合わせ | 8. その他 () |

6. あなたご自身のことについて

問 14 あなたの性別はどちらですか。(1つに〇)

- | | |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

問 15 あなたの年齢は何歳ですか。(1つに〇)

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. 10 歳代 | 4. 40 歳代 | 7. 70 歳代以上 |
| 2. 20 歳代 | 5. 50 歳代 | |
| 3. 30 歳代 | 6. 60 歳代 | |

問 16 あなたは宮代町に住んで何年になりますか。(1つに〇)

- | | |
|---------|-----------|
| 1. 5年未満 | 3. 10～19年 |
| 2. 5～9年 | 4. 20年以上 |

問 17 あなたの職業は次のうちどれですか。(1つに〇)

- | | |
|----------------|---------------------------------|
| 1. 学生 | 7. 運輸・通信業 |
| 2. パート・アルバイト | 8. 会社員、団体職員、公務員 |
| 3. 専業主婦・主夫 | 9. 自由業（医師、弁護士、理美容師等） |
| 4. 農業 | 10. 無職 |
| 5. 建設・製造業 | 11. その他（ ） |
| 6. 商業（小売、飲食店等） | |

問 18 あなたの通勤・通学先はどこですか。(1つに〇)

- | | |
|----------------|--------------------------------|
| 1. 宮代町内 | 4. 通勤・通学の必要がない |
| 2. 埼玉県内（宮代町以外） | 5. その他（ ） |
| 3. 東京都内 | |

問 19 あなたの家族構成はどのようになっていますか。(1つに〇)

- | | |
|---------------------|--------------------------------|
| 1. 一人暮らし | 4. 三世同居（親と子と孫等） |
| 2. 夫婦二人暮らし | 5. その他（ ） |
| 3. 二世同居（親と子、祖父母と孫等） | |

問 20 あなたのお住まいはどこですか。(1つに○)

1. 東	10. 中島	19. 須賀
2. 中	11. 道仏	20. 和戸
3. 金原	12. 百間	21. 国納
4. 逆井	13. 百間1～6丁目	22. 和戸1～5丁目
5. 山崎	14. 中央1～3丁目	23. 宮代台1～3丁目
6. 西原	15. 宮代1～3丁目	24. 学園台1～4丁目
7. 姫宮	16. 本田1～5丁目	25. 笠原1～2丁目
8. 川端	17. 東桑原	26. 川端1～4丁目
9. 宮東	18. 西桑原	27. 東姫宮1～2丁目

○最後になりましたが、宮代町のまちづくりについて、アイデアやご意見がありましたら、ご自由に記入してください。

質問は以上です。お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。

このまま同封の返信用封筒に入れて、平成27年2月12日(木)まで(消印有効)に投函してください。

宮代町住民意識調査【結果報告書】

発行年月／平成 27 年 3 月

発 行／宮代町 総務政策課

住 所／〒345-8504 埼玉県南埼玉郡宮代町笠原 1-4-1

TEL : 0480-34-1111

FAX : 0480-34-7820